

第 2 章

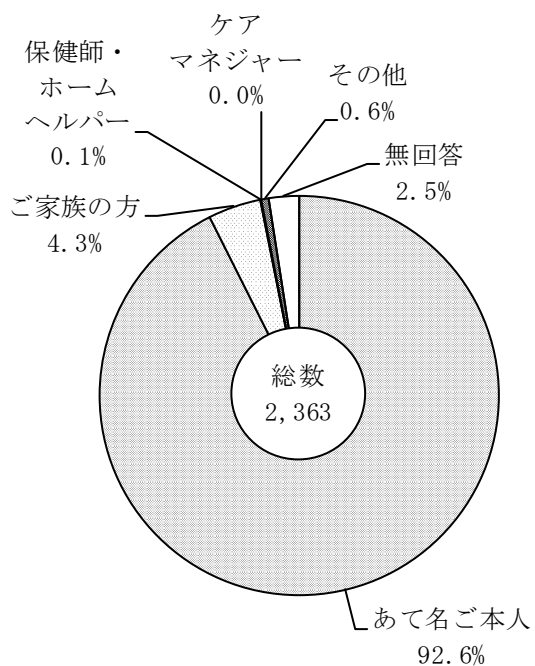
高齢者生活状況アンケート

○ 調査票の記入者

問1 この調査票には、どなたが記入していますか。(一つに○)

記入者は、「あて名ご本人」が92.6%、「ご家族の方」が4.3%となっています。

調査票の記入者



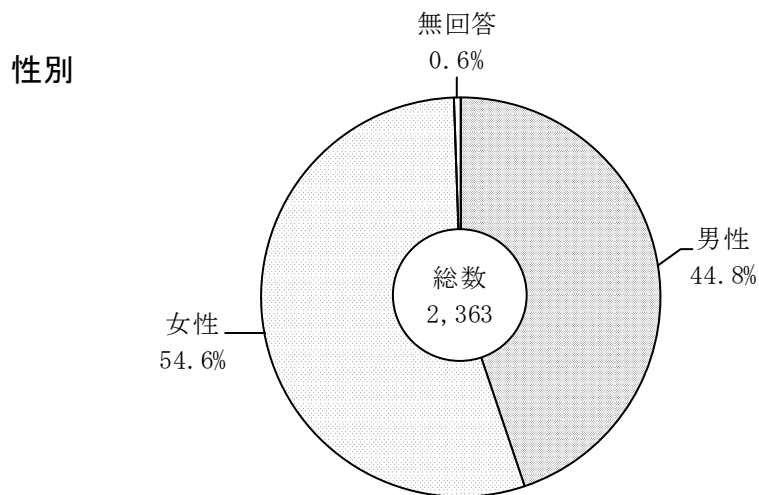
	全体	あて名ご本人	ご家族の方	ホームヘルパー・保健師	ケアマネジャー	その他	無回答
上段：人数	2,363	2,188	101	2	-	14	58
下段：構成比 (%)	100.0	92.6	4.3	0.1	-	0.6	2.5

1 ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きます。(一つに〇)

性別の構成は、「男性」が 44.8%、「女性」が 54.6%と、女性のほうがやや多くなっています。



【性別と世帯構成】

性別を世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方、その他の家族が同居（全員65歳以上）の方は、女性が多くなっています。

性別と世帯構成

		全体	男性	女性	無回答
上段：人数 下段：構成比 (%)					
全体		2,363 100.0	1,059 44.8	1,291 54.6	13 0.6
世帯構成	ひとり暮らし	344 100.0	93 27.0	249 72.4	2 0.6
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	933 100.0	434 46.5	497 53.3	2 0.2
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	172 100.0	149 86.6	23 13.4	-
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	72 100.0	21 29.2	51 70.8	-
	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	770 100.0	339 44.0	429 55.7	2 0.3
	その他(施設やグループ ホーム等)	31 100.0	12 38.7	18 58.1	1 3.2
	無回答	41 100.0	11 26.8	24 58.5	6 14.6

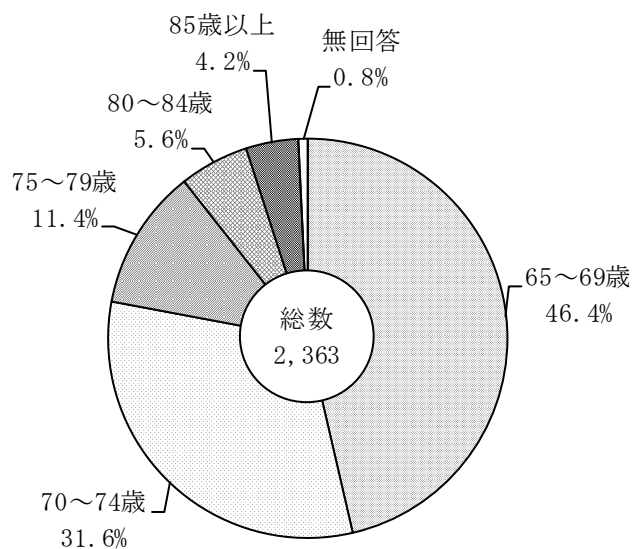
(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。

平成23年1月1日現在の年齢をお書きください。

年齢は、「65～69歳」が46.4%と最も多く、次いで「70～74歳」が31.6%、「75～79歳」が11.4%、「80～84歳」が5.6%、「85歳以上」が4.2%となっています。75歳以上の方は、約2割となっています。

年齢

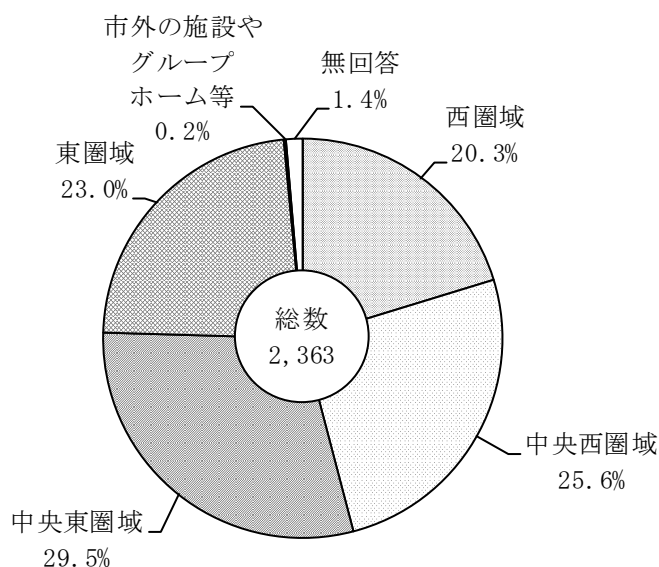


(3) 住まいの地域

問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(一つに〇)

住まいの地域は、「中央東圏域」が 29.5%と最も多く、次いで「中央西圏域」が 25.6%、「東圏域」が 23.0%、「西圏域」が 20.3%となっています。

住まいの地域



日常生活圏域	町 丁 名
西 圏 域	栄町、中島町、小川町1丁目、たかの台、津田町1丁目、上水新町、上水本町1丁目
中央西圏域	小川西町、小川東町、小川町2丁目、津田町2~3丁目、学園西町、上水本町2~6丁目
中央東圏域	美園町、大沼町、仲町、学園東町、喜平町、上水南町
東 圏 域	花小金井、天神町、鈴木町、花小金井南町、回田町、御幸町

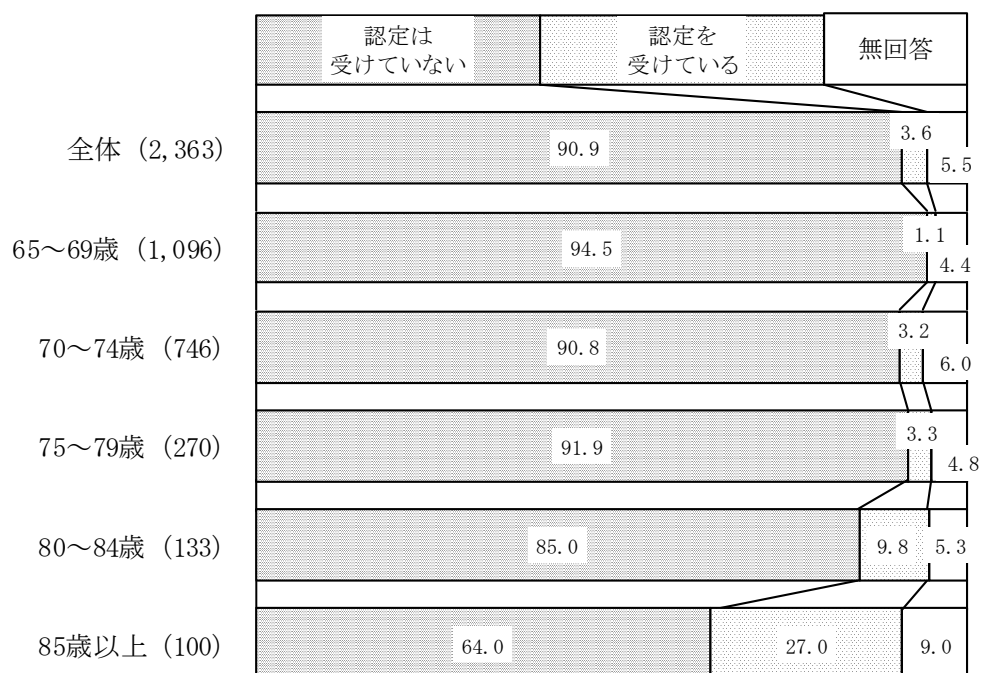
(4) 要介護認定の有無

問5 あなたは現在、要支援・要介護認定を受けていますか。受けている方は要支援度、要介護度をお答えください。(一つに〇)

要介護認定の有無については、「認定は受けていない」が 90.9%と特に多くなっています。要支援の方は合わせて 1.0%、要介護の方は合わせて 2.6%でした。認定を受けている方は、85歳以上で比較的多くなっています。

要支援・要介護認定

単位:%

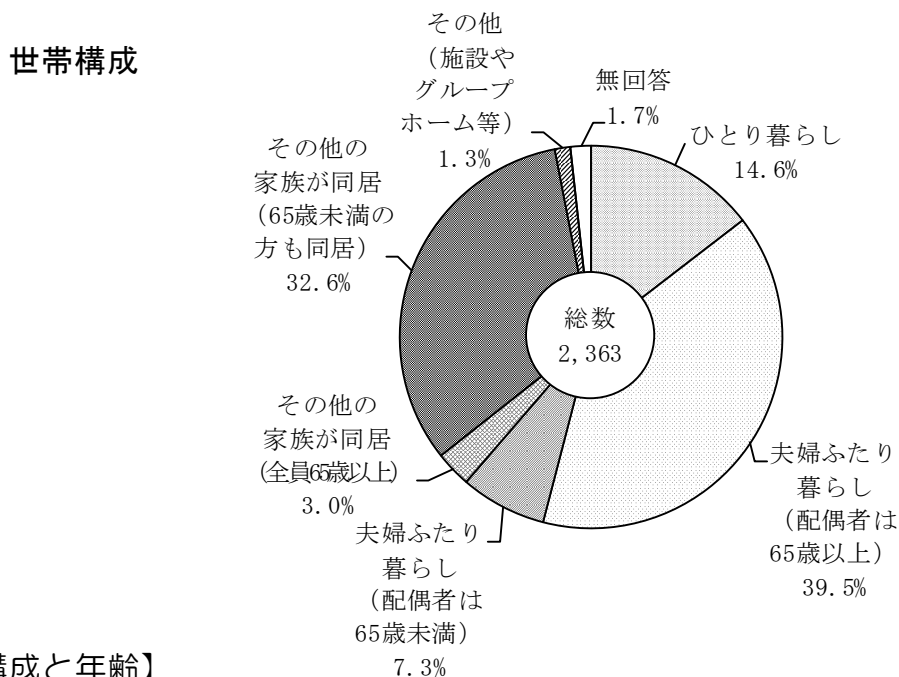


	全体	認定は受けていない	要支援					要介護			無回答
			1	2	1	2	3	4	5		
上段：人数	2,363	2,147	15	8	15	17	12	9	9	131	
下段：構成比 (%)	100.0	90.9	0.6	0.3	0.6	0.7	0.5	0.4	0.4	5.5	
年齢	65~69歳	1,096	1,036	-	1	2	4	3	-	2	48
		100.0	94.5	-	0.1	0.2	0.4	0.3	-	0.2	4.4
	70~74歳	746	677	4	1	5	5	3	3	3	45
		100.0	90.8	0.5	0.1	0.7	0.7	0.4	0.4	0.4	6.0
	75~79歳	270	248	4	-	1	2	1	1	-	13
		100.0	91.9	1.5	-	0.4	0.7	0.4	0.4	-	4.8
	80~84歳	133	113	4	1	2	4	-	2	-	7
	100.0	85.0	3.0	0.8	1.5	3.0	-	1.5	-	5.3	
85歳以上	100	64	3	5	5	2	5	3	4	9	
	100.0	64.0	3.0	5.0	5.0	2.0	5.0	3.0	4.0	9.0	
無回答	18	9	-	-	-	-	-	-	-	9	
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	

(5) 世帯構成

問6 あなたが現在同居している世帯の構成は、次のどれにあたりますか。

世帯の構成は、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が39.5%と最も多く、次いで「その他の家族が同居（65歳未満の方も同居）」が32.6%、「ひとり暮らし」が14.6%となっています。



【世帯構成と年齢】

世帯構成を年齢別に見ると、ひとり暮らしの方は年齢が上がるほど多くなり、85歳以上では2割あまりとなっています。

世帯構成と年齢

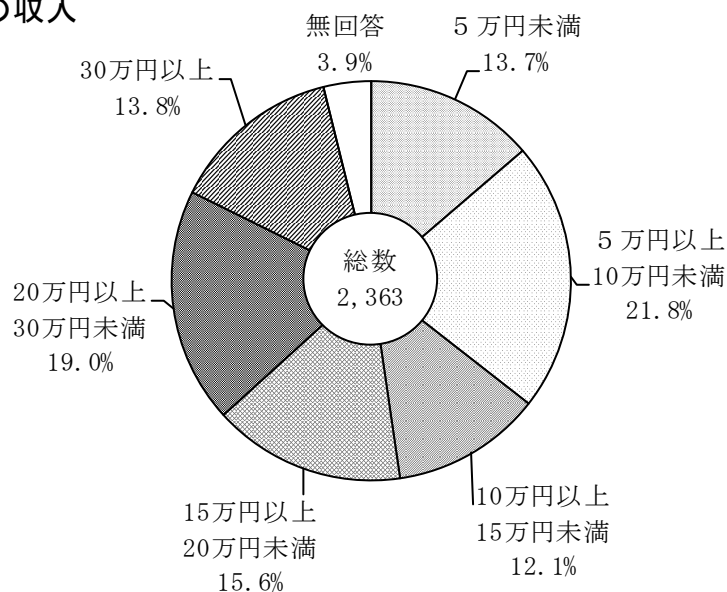
	全体	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	その他 (施設やグループホーム等)	無回答	
									上段：人数
全体	2,363	344	933	172	72	770	31	41	
	100.0	14.6	39.5	7.3	3.0	32.6	1.3	1.7	
年齢	65～69歳	1,096	146	367	153	29	382	12	7
		100.0	13.3	33.5	14.0	2.6	34.9	1.1	0.6
	70～74歳	746	95	352	19	22	236	7	15
		100.0	12.7	47.2	2.5	2.9	31.6	0.9	2.0
	75～79歳	270	48	131	-	8	77	2	4
		100.0	17.8	48.5	-	3.0	28.5	0.7	1.5
80～84歳	133	29	52	-	4	42	3	3	
	100.0	21.8	39.1	-	3.0	31.6	2.3	2.3	
85歳以上	100	24	27	-	9	28	6	6	
	100.0	24.0	27.0	-	9.0	28.0	6.0	6.0	
無回答	18	2	4	-	-	5	1	6	
	100.0	11.1	22.2	-	-	27.8	5.6	33.3	

(6) 1か月の収入

問7 あなたご本人の1か月の収入はどのくらいですか。(一つに〇)

1か月の収入は、「5万円以上10万円未満」が21.8%と最も多く、次いで「20万円以上30万円未満」が19.0%、「15万円以上20万円未満」が15.6%となっています。

1か月の収入



【1か月の収入と性別】

1か月の収入を性別に見ると、男性は「20万円～30万円」女性は「5万円～10万円」が最も多くなっています。

1か月の収入と性別

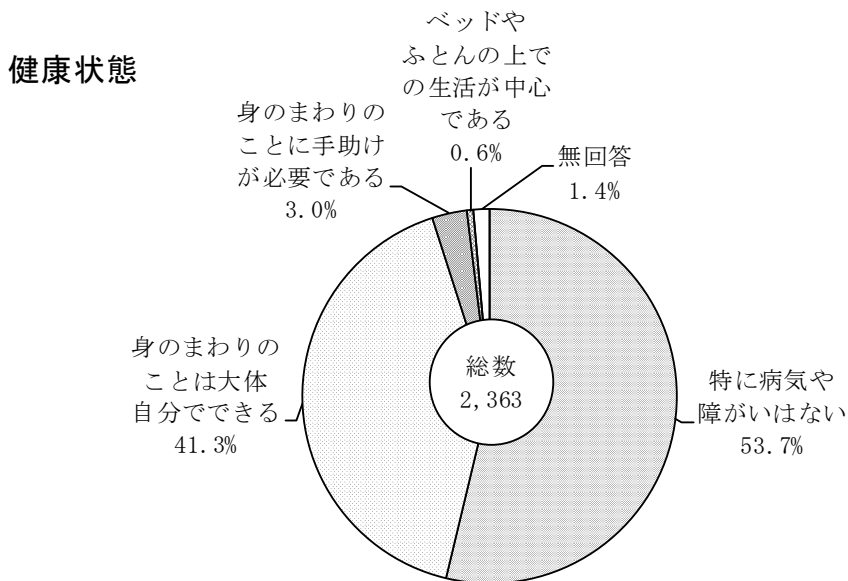
上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上	無回答
全体		2,363	324	516	287	368	450	327	91
		100.0	13.7	21.8	12.1	15.6	19.0	13.8	3.9
性別	男性	1,059	37	71	109	197	351	276	18
		100.0	3.5	6.7	10.3	18.6	33.1	26.1	1.7
	女性	1,291	287	442	177	170	97	50	68
		100.0	22.2	34.2	13.7	13.2	7.5	3.9	5.3
	無回答	13	-	3	1	1	2	1	5
		100.0	-	23.1	7.7	7.7	15.4	7.7	38.5

2 医療・健康について

(1) 健康状態

問8 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(近いもの一つに○)

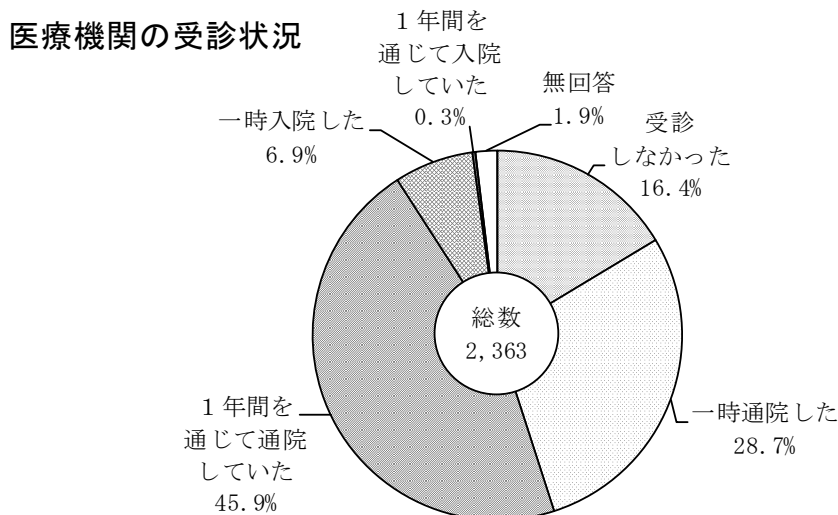
健康状態は、「特に病気や障がいはない」が 53.7%と最も多く、次いで「病気や障がいがあるが、身のまわりのことは大体自分でできる」が 41.3%、「病気や障がいがあり、身のまわりのことに手助けが必要である」が 3.0%となっています。



(2) 医療機関の受診状況

問9 あなたは昨年1年間に、病気や障がいのために医療機関を受診しましたか。(一つに○)

医療機関の受診状況は、「1年間を通じて通院していた」が 45.9%と最も多く、次いで「一時通院した」が 28.7%、「受診しなかった」が 16.4%となっています。

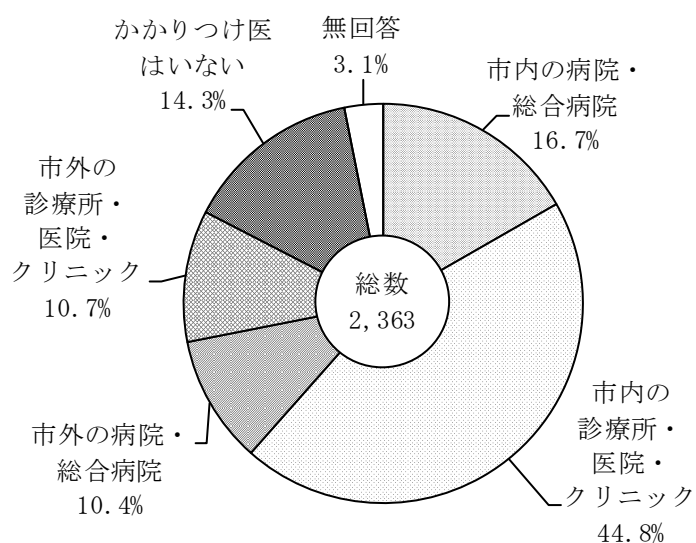


(3) かかりつけ医のいる医療機関

問 10 あなたには、かかりつけの医師がいますか。いる場合は、医師のいる医療機関をお答えください。(一つに〇)

かかりつけ医のいる医療機関は、「市内の診療所・医院・クリニック」が44.8%と最も多く、次いで「市内の病院・総合病院」が16.7%となっています。「かかりつけ医はいない」という回答は14.3%でした。

かかりつけ医のいる医療機関

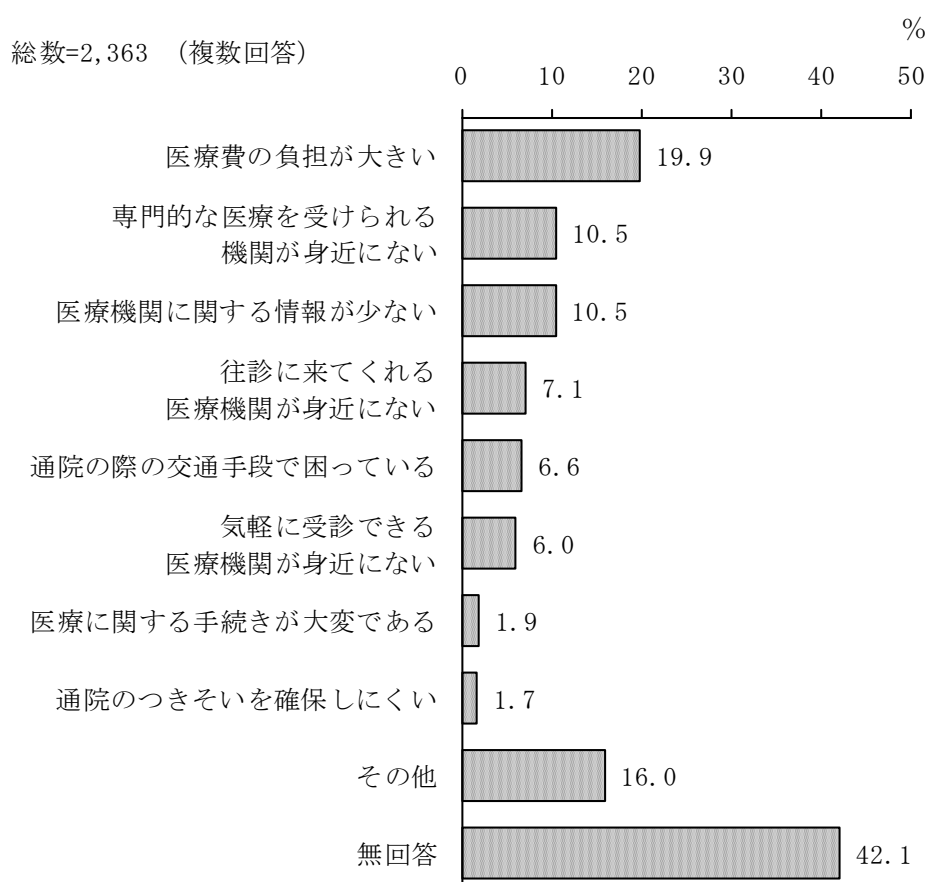


(4) 通院や医療に関して困っていること

問 11 あなたには、通院や医療に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

通院や医療に関して困っていることは、「医療費の負担が大きい」が 19.9%と最も多く、次いで「専門的な医療を受けられる機関が身近にない」と「医療機関に関する情報が少ない」がそれぞれ 10.5%となっています。

通院や医療に関して困っていること

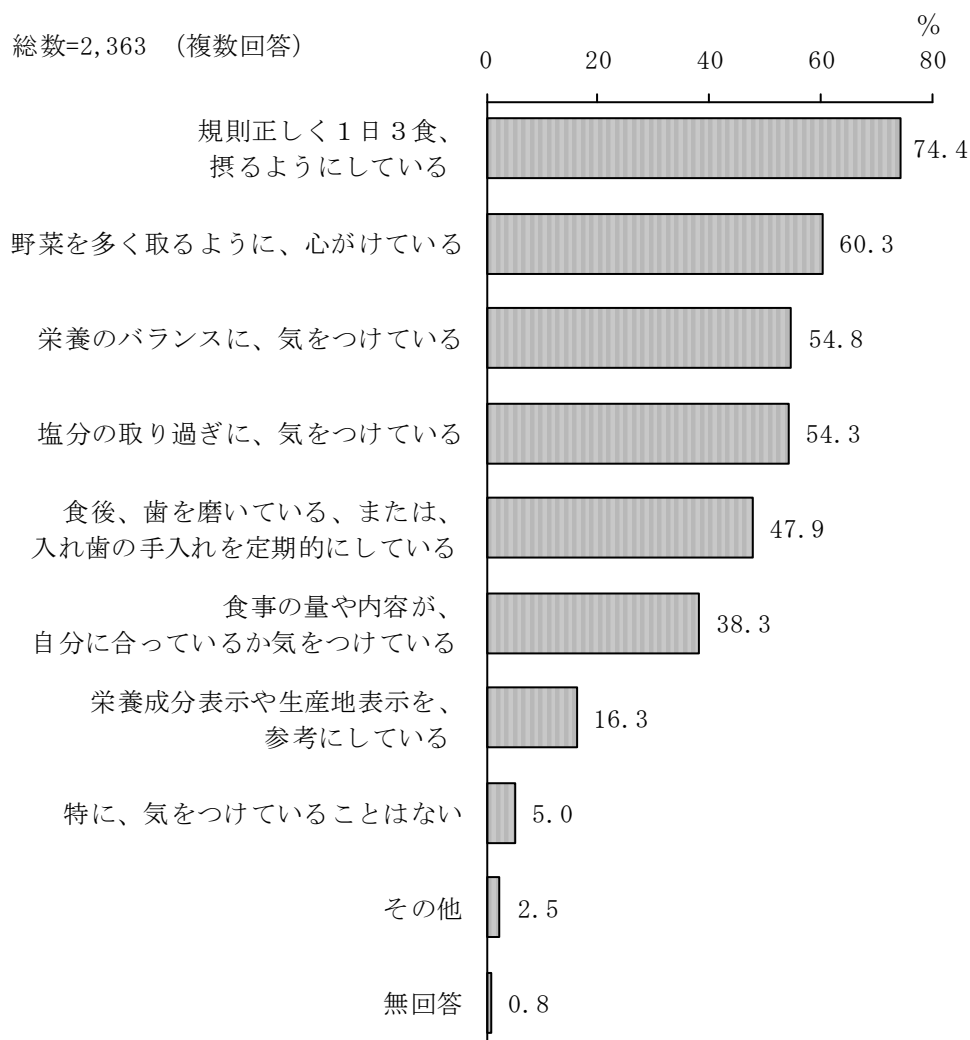


(5) 食生活について気をつけていること

問 12 あなたには、食生活について気をつけていることがありますか。
(〇はいくつでも)

食生活について気をつけていることは、「規則正しく1日3食、摂るようにしている」が74.4%と最も多く、次いで「野菜を多く取るように、心がけている」が60.3%、「栄養のバランスに、気をつけている」が54.8%、「塩分の取り過ぎに、気をつけている」が54.3%となっています。

食生活について気をつけていること

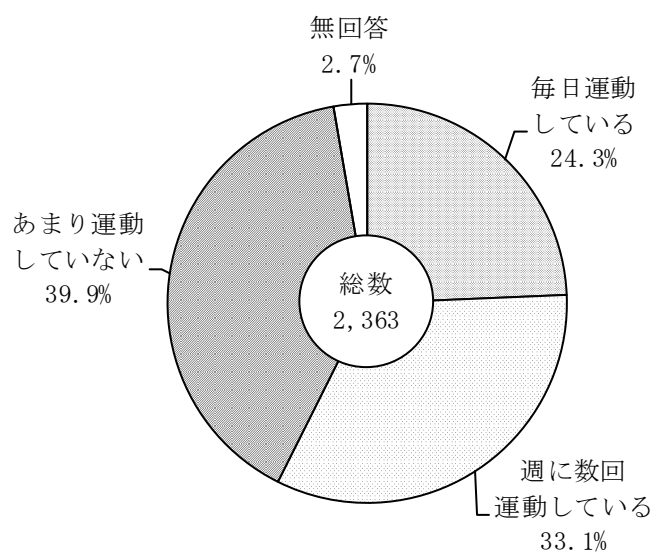


(6) 定期的な運動の有無

問 13 あなたは、定期的に運動をしていますか。(一つに〇)

定期的に運動をしているかについては、「あまり運動していない」が 39.9%と最も多く、次いで「週に数回運動している」が 33.1%、「毎日運動している」が 24.3%となっています。

定期的な運動の有無

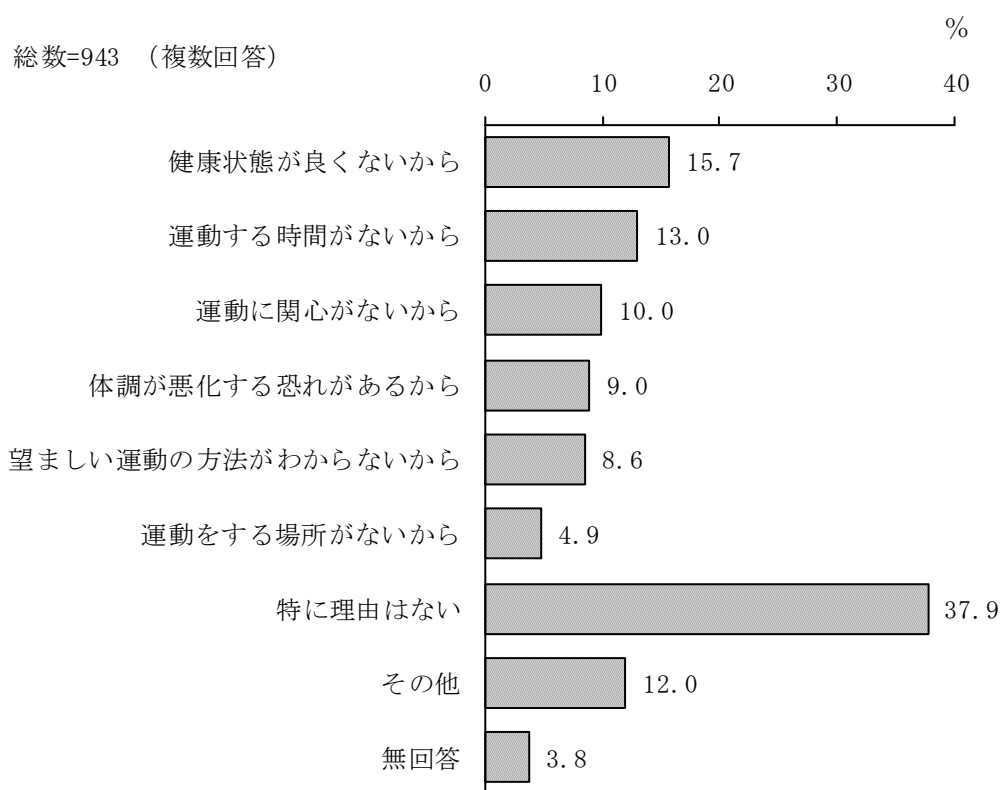


(7) 定期的に運動をしていない理由

問 14 問 13 で「3 あまり運動していない」と回答した方にお聞きします。
あまり運動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

定期的に運動をしていない理由については、「健康状態が良くないから」が 15.7%と最も多く、次いで「運動する時間がないから」が 13.0%、「運動に関心がないから」が 10.0%となっています。

定期的に運動をしていない理由



小平市の介護予防事業

介護予防教室

軽い運動をしたり、食生活や歯みがきについて学ぶことで、介護が必要とならないように、生活習慣の改善をはかる教室です。

認知症予防教室

将来認知症にならないように、予防する方法を学んだり体験したりする教室です。

(8) 介護予防事業への参加意向

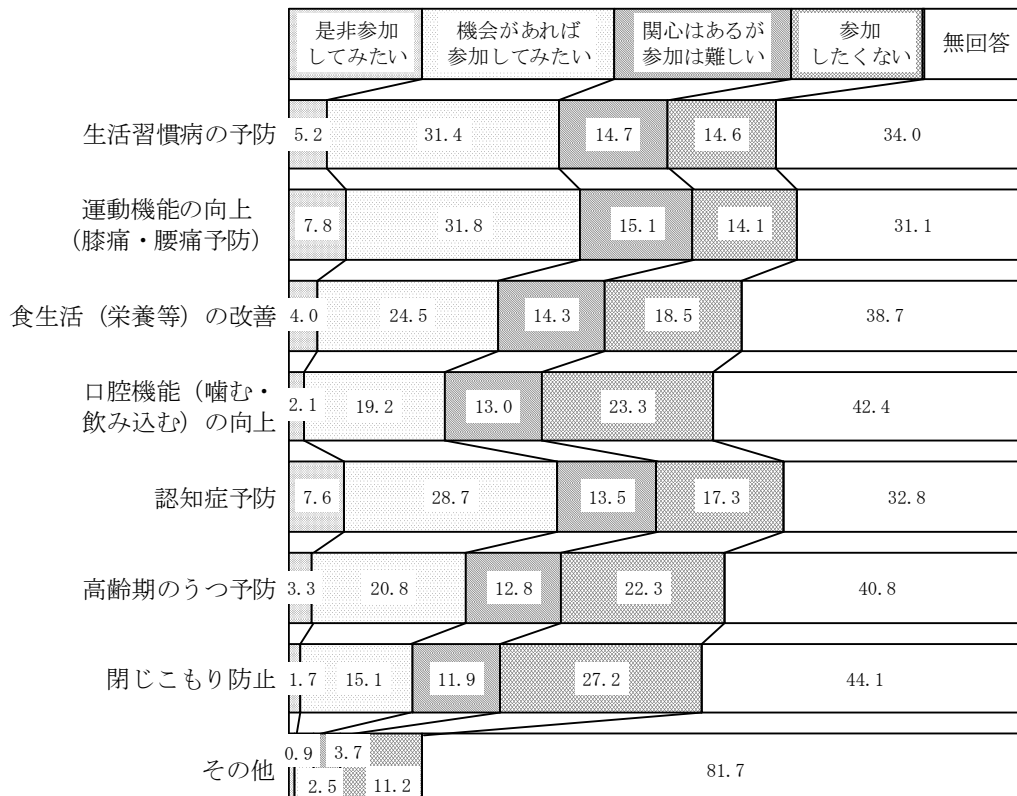
問 15 あなたは今後、次に挙げる介護予防事業に参加してみたいと思いますか。(それぞれ一つに○)

「是非参加してみたい」、「機会があれば参加してみたい」という回答は、「運動機能の向上（膝痛・腰痛予防）」が合わせて 39.6%と最も多く、次いで「生活習慣病の予防」が 36.6%、「認知症予防」が 36.3%、「食生活（栄養等）の改善」が 28.5%となっています。

介護予防事業への参加意向

総数=2,363

単位:%



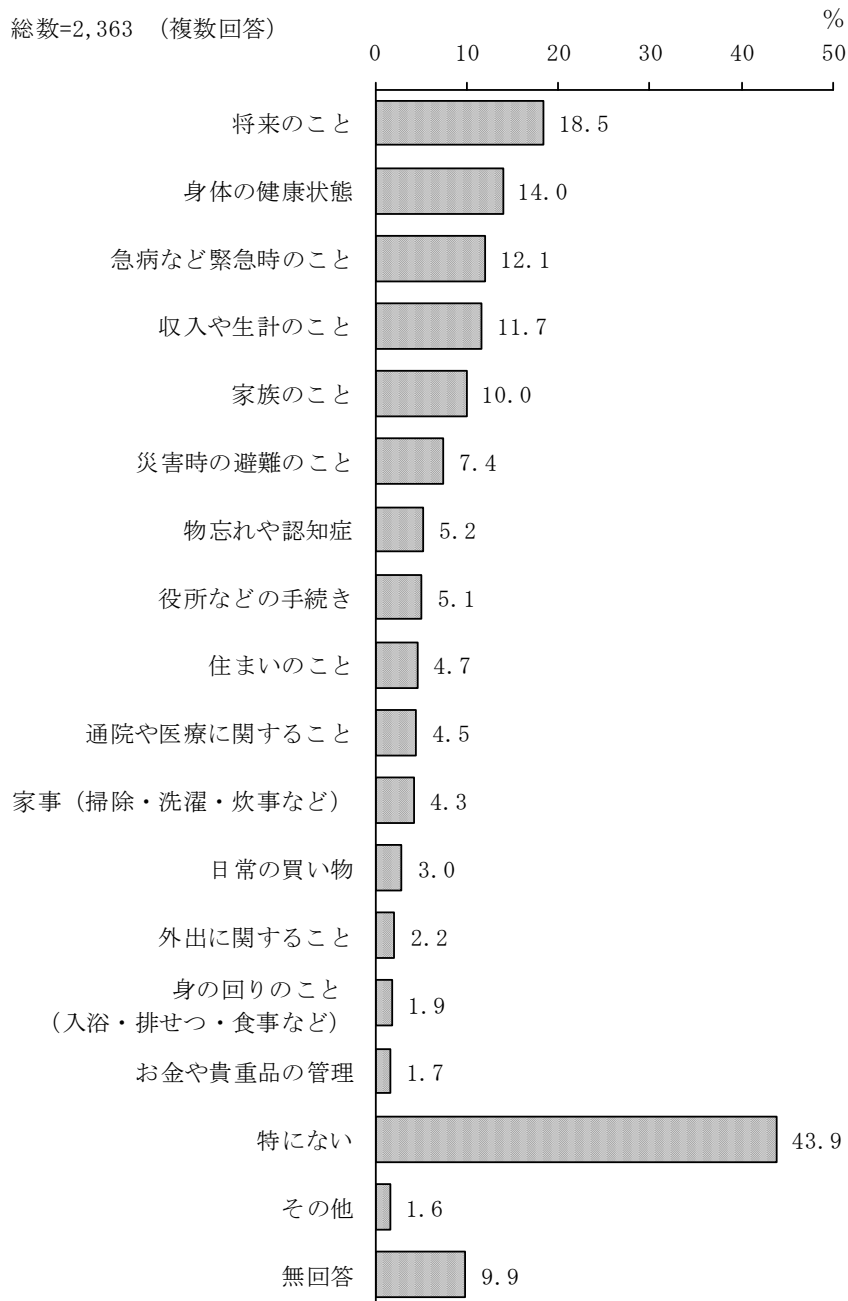
3 日常生活について

(1) 日常生活で困っていること

問 16 あなたには、日常生活で困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

日常生活で困っていることがある方の中では、「将来のこと」が 18.5%と最も多く、次いで「身体 の健康状態」が 14.0%、「急病など緊急時のこと」が 12.1%、「収入や生計のこと」が 11.7%となっています。

日常生活で困っていること



【日常生活で困っていることと年齢】

日常生活で困っていることを年齢別に見ると、「身体の状態」、「急病など緊急時のこと」は80歳以上の方に多く、「将来のこと」、「収入や生計のこと」は80歳未満の方に多くなっています。

日常生活で困っていることと年齢

上段：人数 下段：構成比（％）		全体	身体の状態	物忘れや認知症	身の回りのこと （入浴・排せつ・ 食事など）	家事（掃除・洗濯・ 炊事など）	日常の買い物	住まいのこと	外出に関する事	通院や医療に 関すること	役所などの手続き
全体		2,363 100.0	330 14.0	124 5.2	44 1.9	101 4.3	70 3.0	110 4.7	51 2.2	107 4.5	121 5.1
年齢	65～69歳	1,096 100.0	131 12.0	33 3.0	14 1.3	26 2.4	17 1.6	60 5.5	13 1.2	40 3.6	36 3.3
	70～74歳	746 100.0	100 13.4	39 5.2	8 1.1	28 3.8	16 2.1	33 4.4	13 1.7	30 4.0	38 5.1
	75～79歳	270 100.0	47 17.4	20 7.4	4 1.5	17 6.3	13 4.8	7 2.6	7 2.6	14 5.2	20 7.4
	80～84歳	133 100.0	33 24.8	15 11.3	7 5.3	12 9.0	11 8.3	4 3.0	10 7.5	8 6.0	14 10.5
	85歳以上	100 100.0	17 17.0	15 15.0	11 11.0	17 17.0	13 13.0	6 6.0	8 8.0	12 12.0	12 12.0
	無回答	18 100.0	2 11.1	2 11.1	-	1 5.6	-	-	-	3 16.7	1 5.6

上段：人数 下段：構成比（％）		お金や貴重品の管理	急病など緊急時のこと	災害時の避難のこと	収入や生計のこと	家族のこと	将来のこと	特にない	その他	無回答
全体		40 1.7	285 12.1	176 7.4	277 11.7	237 10.0	436 18.5	1,037 43.9	38 1.6	234 9.9
年齢	65～69歳	15 1.4	92 8.4	66 6.0	153 14.0	126 11.5	218 19.9	528 48.2	16 1.5	92 8.4
	70～74歳	10 1.3	96 12.9	48 6.4	90 12.1	62 8.3	128 17.2	331 44.4	6 0.8	85 11.4
	75～79歳	8 3.0	47 17.4	32 11.9	19 7.0	24 8.9	56 20.7	93 34.4	8 3.0	34 12.6
	80～84歳	3 2.3	22 16.5	16 12.0	8 6.0	12 9.0	18 13.5	45 33.8	5 3.8	10 7.5
	85歳以上	3 3.0	24 24.0	13 13.0	4 4.0	11 11.0	12 12.0	34 34.0	3 3.0	10 10.0
	無回答	1 5.6	4 22.2	1 5.6	3 16.7	2 11.1	4 22.2	6 33.3	-	3 16.7

【日常生活で困っていることと世帯構成】

日常生活で困っていることを世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では、「急病など緊急時のこと」、「将来のこと」が多くなっています。

日常生活で困っていることと世帯構成

上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	身体 の健康 状態	物忘れ や認知 症	身の回りのこと (入浴・排せつ・ 食事など)	家事(掃除・洗濯・ 炊事など)	日常の 買い物	住まい のこと	外出に 関する こと	通院や 医療に 関する こと	役所な どの手 続き
全体		2,363 100.0	330 14.0	124 5.2	44 1.9	101 4.3	70 3.0	110 4.7	51 2.2	107 4.5	121 5.1
世帯 構成	ひとり暮らし	344 100.0	48 14.0	24 7.0	13 3.8	35 10.2	17 4.9	28 8.1	7 2.0	15 4.4	26 7.6
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	933 100.0	140 15.0	42 4.5	6 0.6	25 2.7	22 2.4	36 3.9	16 1.7	34 3.6	41 4.4
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	172 100.0	15 8.7	8 4.7	2 1.2	5 2.9	-	12 7.0	3 1.7	7 4.1	4 2.3
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	72 100.0	7 9.7	6 8.3	3 4.2	3 4.2	2 2.8	2 2.8	5 6.9	2 2.8	4 5.6
	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	770 100.0	109 14.2	38 4.9	12 1.6	25 3.2	22 2.9	29 3.8	16 2.1	44 5.7	42 5.5
	その他(施設やグループ ホーム等)	31 100.0	10 32.3	5 16.1	7 22.6	6 19.4	5 16.1	2 6.5	3 9.7	2 6.5	4 12.9
	無回答	41 100.0	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.9	2 4.9	1 2.4	1 2.4	3 7.3	-

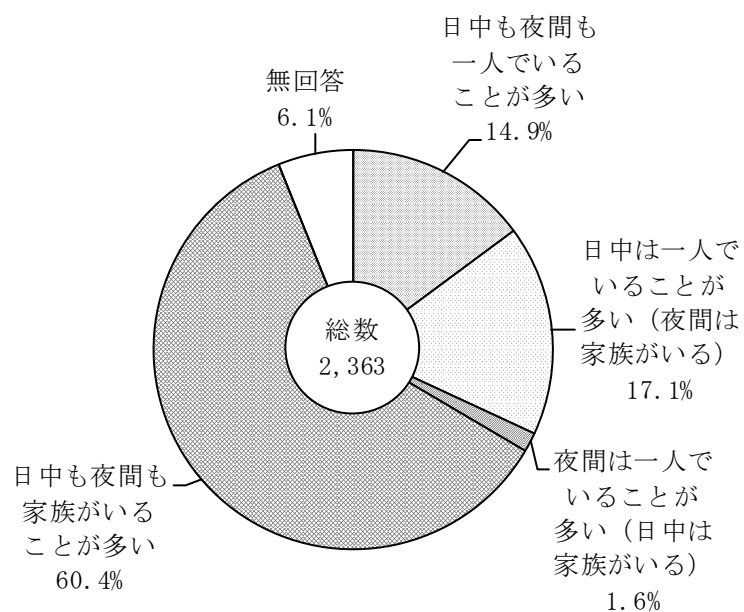
上段：人数 下段：構成比 (%)		お金や 貴重品 の管理	急病な ど緊急 時のこ と	災害時 の避難 のこと	収入や 生計の こと	家族の こと	将来の こと	特に ない	その他	無回 答
全体		40 1.7	285 12.1	176 7.4	277 11.7	237 10.0	436 18.5	1,037 43.9	38 1.6	234 9.9
世帯 構成	ひとり暮らし	10 2.9	94 27.3	44 12.8	47 13.7	21 6.1	87 25.3	110 32.0	10 2.9	26 7.6
	夫婦ふたり暮らし(配偶 者は65歳以上)	11 1.2	108 11.6	61 6.5	92 9.9	65 7.0	158 16.9	434 46.5	11 1.2	96 10.3
	夫婦ふたり暮らし(配偶 者は65歳未満)	-	12 7.0	5 2.9	26 15.1	18 10.5	37 21.5	96 55.8	2 1.2	11 6.4
	その他の家族が同居(全 員65歳以上)	3 4.2	7 9.7	7 9.7	6 8.3	8 11.1	11 15.3	29 40.3	5 6.9	10 13.9
	その他の家族が同居(65歳未 満の方も同居)	11 1.4	61 7.9	53 6.9	97 12.6	118 15.3	131 17.0	341 44.3	9 1.2	75 9.7
	その他(施設やグループ ホーム等)	5 16.1	2 6.5	3 9.7	6 19.4	7 22.6	9 29.0	8 25.8	-	4 12.9
	無回答	-	1 2.4	3 7.3	3 7.3	-	3 7.3	19 46.3	1 2.4	12 29.3

(2) 日中独居・夜間独居の有無

問 17 あなたには、日中や夜間、家で一人になることがありますか。
(一つに○)

日中や夜間、家で一人になることがあるかについては、「日中も夜間も一人でいることが多い」が14.9%、「日中は一人でいることが多い(夜間は家族がいる)」が17.1%、「日中も夜間も家族がいることが多い」が60.4%となっています。

日中独居・夜間独居の有無

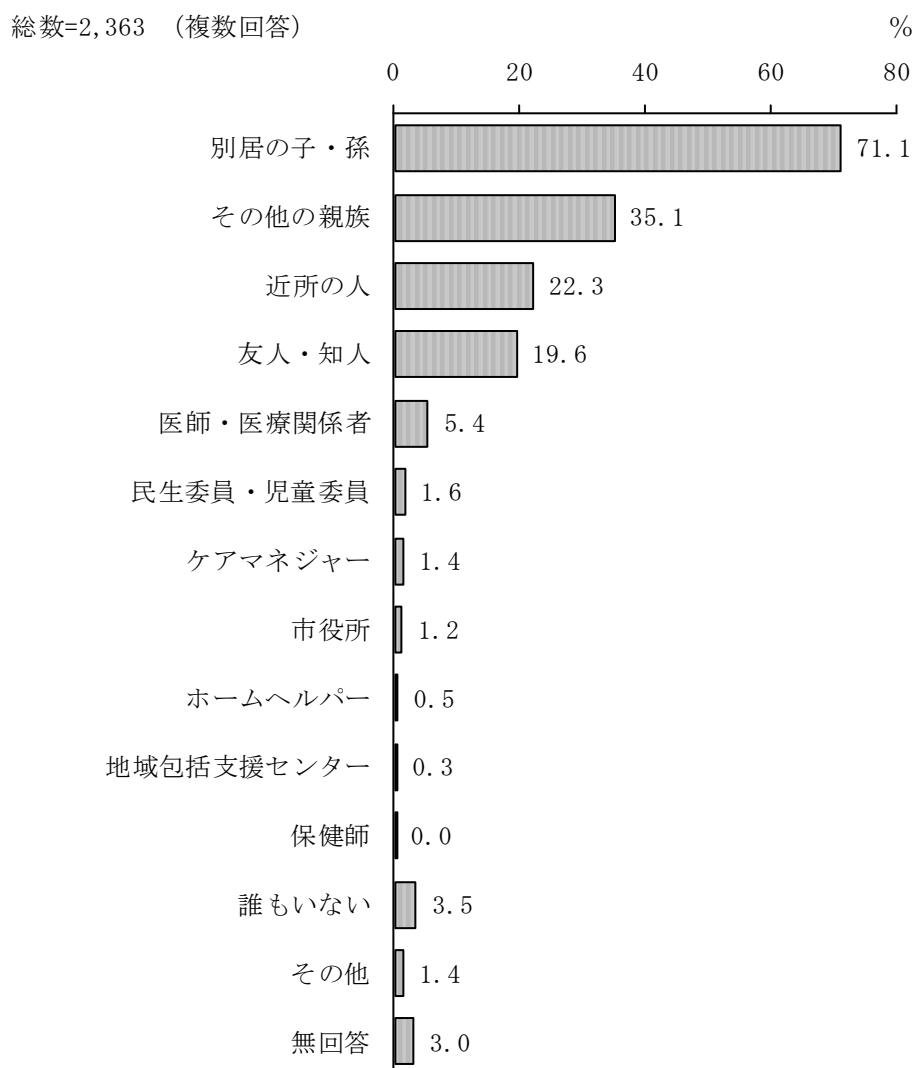


(3) 緊急時の連絡先

問 18 あなたには、同居している家族以外に、緊急時に連絡できる人がいますか。(〇はいくつでも)

同居している家族以外の緊急時連絡先は、「別居の子・孫」が 71.1%と最も多く、次いで「その他の親族」が 35.1%、「近所の人」が 22.3%、「友人・知人」が 19.6%となっています。

緊急時の連絡先



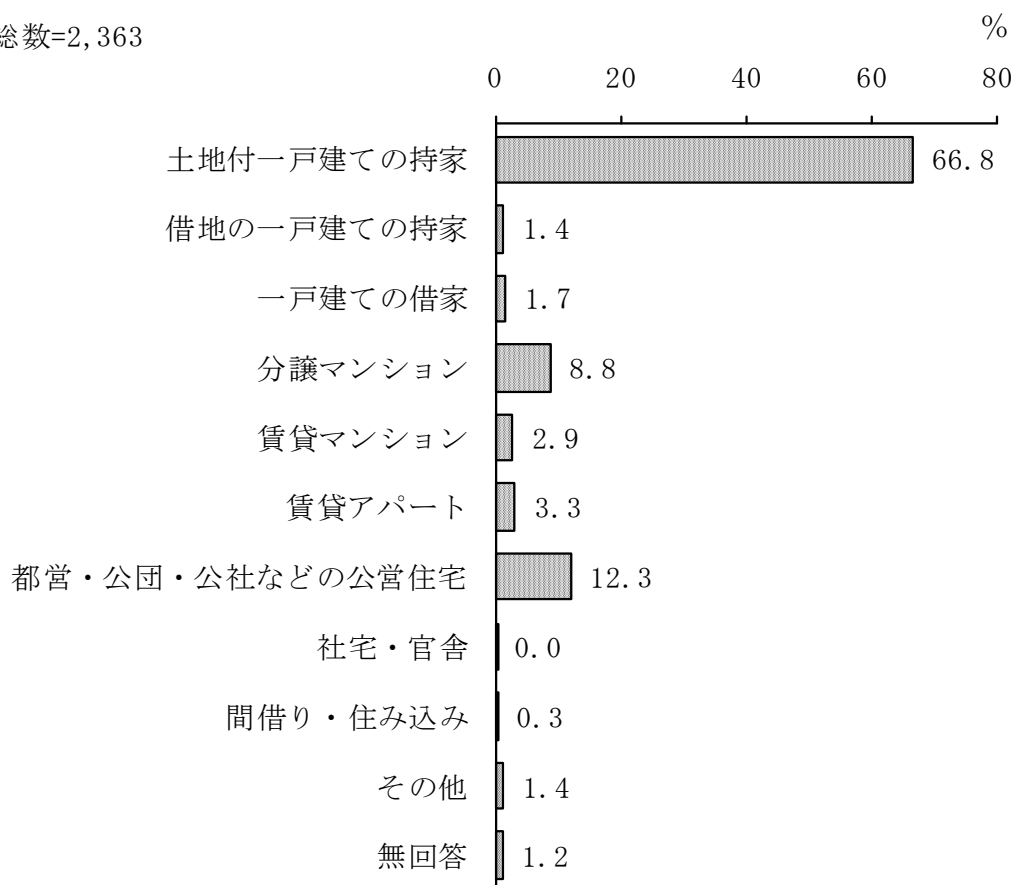
(4) 住まいの種類

問 19 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(一つに〇)

住まいの種類は、「土地付一戸建ての持家」が 66.8%と最も多く、次いで「都営・公団・公社などの公営住宅」が 12.3%、「分譲マンション」が 8.8%となっています。

住まいの種類

総数=2,363



【住まいの種類と地域】

住まいの種類を地域別で見ると、どの地域も「土地付一戸建ての持家」が最も多くなっていますが、中央西圏域、中央東圏域では他の地域に比べて「都営・公団・公社などの公営住宅」が比較的多くなっています。

住まいの種類と地域

上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	土地付一戸建ての持家	借地の一戸建ての持家	一戸建ての借家	分譲マンション	賃貸マンション	賃貸アパート	都営・公団・公社などの公営住宅	社宅・官舎	間借り・住み込み	その他	無回答
全体		2,363 100.0	1,579 66.8	33 1.4	39 1.7	208 8.8	68 2.9	77 3.3	290 12.3	1 0.0	8 0.3	32 1.4	28 1.2
住まいの地域	西圏域	479 100.0	368 76.8	5 1.0	9 1.9	29 6.1	11 2.3	19 4.0	19 4.0	-	3 0.6	11 2.3	5 1.0
	中央西圏域	606 100.0	355 58.6	12 2.0	9 1.5	78 12.9	22 3.6	12 2.0	103 17.0	-	3 0.5	4 0.7	8 1.3
	中央東圏域	698 100.0	449 64.3	7 1.0	11 1.6	30 4.3	13 1.9	29 4.2	142 20.3	1 0.1	1 0.1	6 0.9	9 1.3
	東圏域	544 100.0	387 71.1	9 1.7	10 1.8	70 12.9	21 3.9	14 2.6	20 3.7	-	1 0.2	10 1.8	2 0.4
	市外の施設やグループホーム等	4 100.0	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-
	無回答	32 100.0	19 59.4	-	-	1 3.1	1 3.1	2 6.3	5 15.6	-	-	-	4 12.5
	無回答	32 100.0	19 59.4	-	-	1 3.1	1 3.1	2 6.3	5 15.6	-	-	-	4 12.5

【住まいの種類と世帯構成】

住まいの種類を世帯構成別に見ると、どの世帯構成でも「土地付一戸建ての持家」が多くなっていますが、ひとり暮らしの方では他の方と比べて「都営・公団・公社などの公営住宅」が比較的多くなっています。

住まいの種類と世帯構成

上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	土地付一戸建ての持家	借地の一戸建ての持家	一戸建ての借家	分譲マンション	賃貸マンション	賃貸アパート	都営・公団・公社などの公営住宅	社宅・官舎	間借り・住み込み	その他	無回答
全体		2,363 100.0	1,579 66.8	33 1.4	39 1.7	208 8.8	68 2.9	77 3.3	290 12.3	1 0.0	8 0.3	32 1.4	28 1.2
世帯構成	ひとり暮らし	344 100.0	157 45.6	2 0.6	7 2.0	32 9.3	14 4.1	33 9.6	91 26.5	-	1 0.3	3 0.9	4 1.2
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	933 100.0	647 69.3	14 1.5	13 1.4	86 9.2	22 2.4	24 2.6	111 11.9	1 0.1	2 0.2	2 0.2	11 1.2
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	172 100.0	116 67.4	1 0.6	2 1.2	26 15.1	7 4.1	5 2.9	14 8.1	-	-	-	1 0.6
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	72 100.0	47 65.3	3 4.2	1 1.4	8 11.1	4 5.6	2 2.8	5 6.9	-	2 2.8	-	-
	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	770 100.0	583 75.7	13 1.7	16 2.1	54 7.0	19 2.5	11 1.4	62 8.1	-	2 0.3	6 0.8	4 0.5
	その他(施設やグループホーム等)	31 100.0	3 9.7	-	-	-	-	-	2 6.5	-	1 3.2	21 67.7	4 12.9
	無回答	41 100.0	26 63.4	-	-	2 4.9	2 4.9	2 4.9	5 12.2	-	-	-	4 9.8

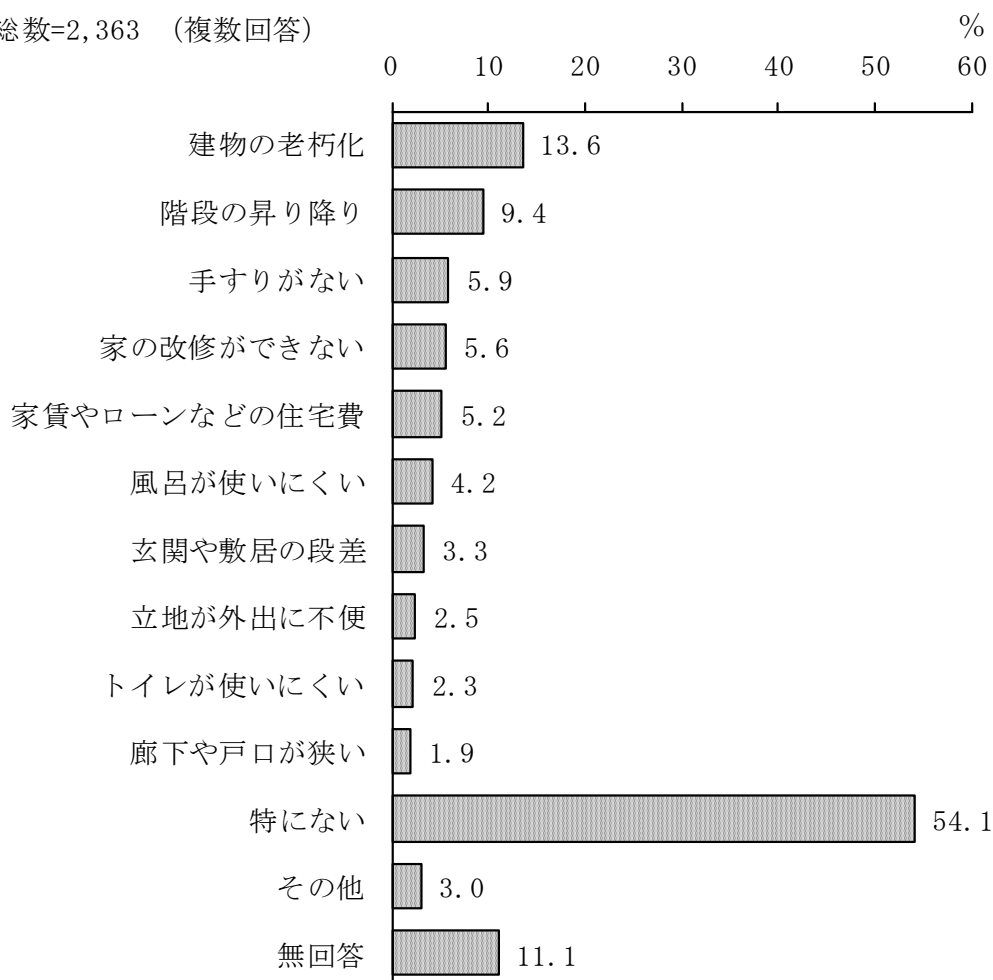
(5) 住まいについて困っていること

問 20 あなたには、住まいについて困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

住まいについて困っていることは、「建物の老朽化」が 13.6%と最も多く、次いで「階段の昇り降り」が 9.4%、「手すりがない」が 5.9%、「家の改修ができない」が 5.6%となっています。

住まいについて困っていること

総数=2,363 (複数回答)



【住まいについて困っていることと住まいの種類】

住まいについて困っていることを住まいの種類別に見ると、賃貸マンション・アパートでは「家賃やローンなどの住宅費」、一戸建てでは「建物の老朽化」が多くなっています。

住まいについて困っていることと住まいの種類

上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	階段の昇り降り	玄関や敷居の段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	廊下や戸口が狭い	手すりがない
全体		2,363 100.0	222 9.4	79 3.3	99 4.2	54 2.3	46 1.9	140 5.9
住まいの種類	土地付一戸建ての持家	1,579 100.0	145 9.2	64 4.1	42 2.7	30 1.9	25 1.6	109 6.9
	借地の一戸建ての持家	33 100.0	3 9.1	1 3.0	3 9.1	-	2 6.1	2 6.1
	一戸建ての借家	39 100.0	5 12.8	1 2.6	1 2.6	5 12.8	-	3 7.7
	分譲マンション	208 100.0	11 5.3	1 0.5	3 1.4	1 0.5	4 1.9	7 3.4
	賃貸マンション	68 100.0	9 13.2	1 1.5	4 5.9	3 4.4	1 1.5	2 2.9
	賃貸アパート	77 100.0	12 15.6	2 2.6	8 10.4	3 3.9	3 3.9	5 6.5
	都営・公団・公社などの 公営住宅	290 100.0	28 9.7	7 2.4	32 11.0	8 2.8	7 2.4	8 2.8
	社宅・官舎	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	間借り・住み込み	8 100.0	-	-	1 12.5	-	-	1 12.5
	その他	32 100.0	8 25.0	2 6.3	4 12.5	3 9.4	3 9.4	2 6.3
	無回答	28 100.0	-	-	1 3.6	1 3.6	1 3.6	1 3.6

上段：人数 下段：構成比 (%)		立地が外出に不便	家賃やローンなどの住宅費	建物の老朽化	家の改修ができない	特にない	その他	無回答
全体		58 2.5	124 5.2	321 13.6	132 5.6	1,279 54.1	71 3.0	263 11.1
住まいの種類	土地付一戸建ての持家	38 2.4	21 1.3	259 16.4	105 6.6	894 56.6	43 2.7	153 9.7
	借地の一戸建ての持家	1 3.0	1 3.0	7 21.2	8 24.2	19 57.6	2 6.1	1 3.0
	一戸建ての借家	-	9 23.1	11 28.2	2 5.1	13 33.3	2 5.1	3 7.7
	分譲マンション	8 3.8	13 6.3	8 3.8	2 1.0	144 69.2	3 1.4	19 9.1
	賃貸マンション	2 2.9	20 29.4	2 2.9	-	27 39.7	2 2.9	11 16.2
	賃貸アパート	2 2.6	23 29.9	12 15.6	3 3.9	18 23.4	6 7.8	11 14.3
	都営・公団・公社などの 公営住宅	6 2.1	36 12.4	15 5.2	8 2.8	140 48.3	10 3.4	40 13.8
	社宅・官舎	-	-	-	-	-	-	-
	間借り・住み込み	-	-	1 12.5	-	3 37.5	-	3 37.5
	その他	1 3.1	1 3.1	5 15.6	4 12.5	16 50.0	1 3.1	1 3.1
	無回答	-	-	1 3.6	-	5 17.9	2 7.1	21 75.0

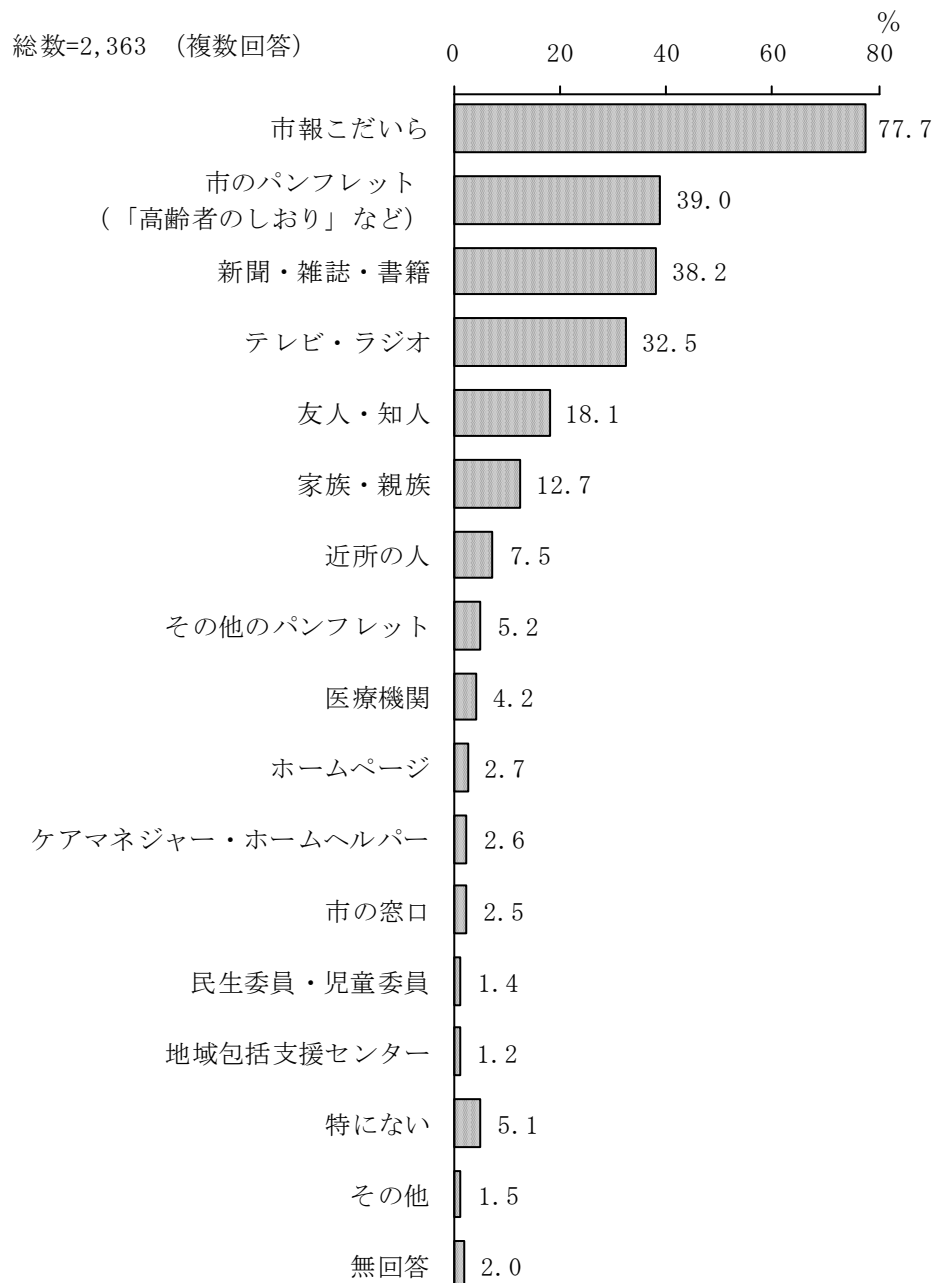
4 相談・権利擁護について

(1) 福祉情報の入手方法

問 21 あなたは、福祉に関する情報をどこから知ることが多いですか。
(〇はいくつでも)

福祉情報の入手先は、「市報こだいら」が 77.7%と最も多く、次いで「市のパンフレット(「高齢者のしおり」など)」が 39.0%、「新聞・雑誌・書籍」が 38.2%、「テレビ・ラジオ」が 32.5%となっています。

福祉情報の入手方法

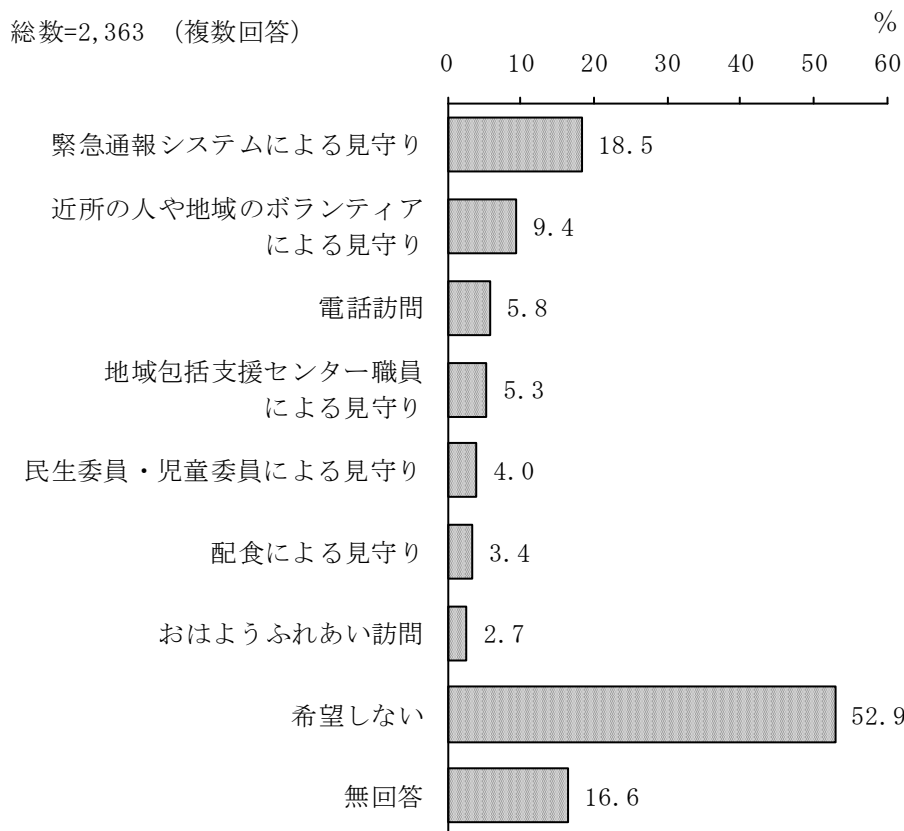


(2) 見守りや声かけの希望

問 22 あなたは、次のような見守りや声かけを希望しますか。
(〇はいくつでも)

希望する内容は、「緊急通報システムによる見守り」が 18.5%と最も多く、次いで「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が 9.4%、「電話訪問」が 5.8%、「地域包括支援センター職員による見守り」が 5.3%となっています。

見守りや声かけの希望



見守り・声かけ

配食による見守り

食事を配達するときに、安否を確認します。

緊急通報システムによる見守り

緊急時にボタンを押すと、消防署や警備会社に連絡できます。

おはようふれあい訪問

乳酸菌飲料を配達するときに、安否を確認します。

電話訪問

週1回、電話による見守りを行います。

【見守りや声かけの希望と世帯構成】

見守りや声かけの希望を世帯構成別に見ると、ひとり暮らしの方では、「緊急通報システムによる見守り」が特に多くなっています。

見守りや声かけの希望と世帯構成

上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	配食による見守り	緊急通報システムによる見守り	おはようふれあい訪問	電話訪問	地域包括支援センター職員による見守り	民生委員・児童委員による見守り	近所の人や地域のボランティアによる見守り	希望しない	無回答	
全体		2,363 100.0	80 3.4	436 18.5	63 2.7	137 5.8	126 5.3	94 4.0	222 9.4	1,251 52.9	392 16.6	
世帯構成	ひとり暮らし	344 100.0	17 4.9	118 34.3	14 4.1	34 9.9	23 6.7	19 5.5	35 10.2	110 32.0	58 16.9	
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	933 100.0	31 3.3	166 17.8	24 2.6	50 5.4	48 5.1	40 4.3	94 10.1	501 53.7	154 16.5	
	夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	172 100.0	6 3.5	22 12.8	3 1.7	10 5.8	8 4.7	8 4.7	15 8.7	115 66.9	14 8.1	
	その他の家族が同居 (全員65歳以上)	72 100.0	3 4.2	10 13.9	3 4.2	3 4.2	4 5.6	1 1.4	5 6.9	47 65.3	9 12.5	
	その他の家族が同居 (65歳未満の方も同居)	770 100.0	19 2.5	113 14.7	15 1.9	34 4.4	38 4.9	21 2.7	66 8.6	450 58.4	126 16.4	
	その他(施設やグループホーム等)	31 100.0	1 3.2	1 3.2	-	-	-	2 6.5	1 3.2	1 3.2	16 51.6	12 38.7
	無回答	41 100.0	3 7.3	6 14.6	4 9.8	6 14.6	3 7.3	4 9.8	6 14.6	12 29.3	19 46.3	

【見守りや声かけの希望と近所づきあいの程度】

見守りや声かけの希望を近所づきあいの程度別に見ると、家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる方では、「近所の人や地域のボランティアによる見守り」が比較的多くなっています。

見守りや声かけの希望と近所づきあいの程度

上段：人数 下段：構成比 (%)		全体	配食による見守り	緊急通報システムによる見守り	おはようふれあい訪問	電話訪問	地域包括支援センター職員による見守り	民生委員・児童委員による見守り	近所の人や地域のボランティアによる見守り	希望しない	無回答
全体		2,363 100.0	80 3.4	436 18.5	63 2.7	137 5.8	126 5.3	94 4.0	222 9.4	1,251 52.9	392 16.6
近所づきあいの程度	家に行き来するなど、親しくつきあっている人	500 100.0	17 3.4	76 15.2	18 3.6	27 5.4	23 4.6	23 4.6	70 14.0	262 52.4	89 17.8
	立ち話をする程度のつきあいが多い	753 100.0	24 3.2	144 19.1	17 2.3	43 5.7	40 5.3	25 3.3	73 9.7	415 55.1	103 13.7
	あいさつをする程度のつきあいが多い	768 100.0	28 3.6	148 19.3	18 2.3	43 5.6	43 5.6	29 3.8	49 6.4	428 55.7	119 15.5
	近所づきあいはほとんどない	177 100.0	5 2.8	36 20.3	4 2.3	13 7.3	10 5.6	5 2.8	8 4.5	90 50.8	33 18.6
	無回答	165 100.0	6 3.6	32 19.4	6 3.6	11 6.7	10 6.1	12 7.3	22 13.3	56 33.9	48 29.1

(3) 地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度

問 23 あなたは、次のような相談窓口を知っていましたか。
(それぞれ一つに○)

「地域包括支援センター」では、「内容を知っていた」が22.0%、「名前は聞いたことがある」が38.8%と約6割がその存在を知っているとの回答でした。

「権利擁護センターこだいら」では、「内容を知っていた」が10.0%、「名前は聞いたことがある」が25.3%と約4割がその存在を知っているとの回答でした。

地域包括支援センター・権利擁護センターこだいらの認知度

総数=2,363

単位:%

	内容を知っていた	名前は聞いたことがある	知らなかった	無回答
地域包括支援センター	22.0	38.8	33.8	5.4
権利擁護センターこだいら	10.0	25.3	57.6	7.1

相談窓口

地域包括支援センター

介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者や家族の相談を受けたり、見守りや支援を行う、地域の総合的な拠点です。

権利擁護センターこだいら

高齢者の権利を守るために、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度、苦情相談受付、法律専門相談を実施しているセンターです。

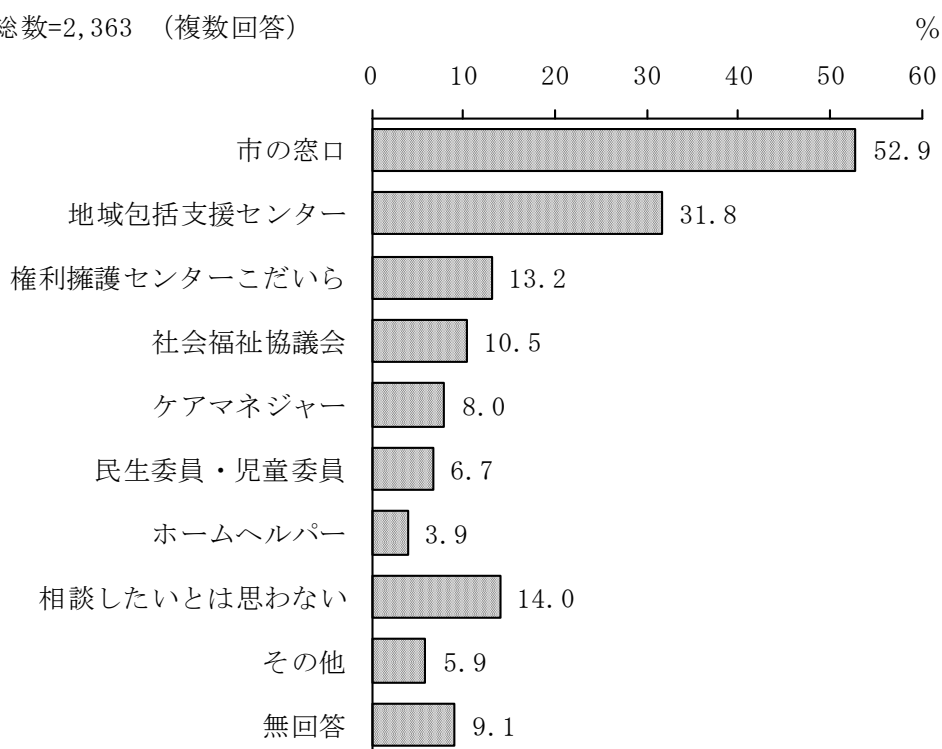
(4) 福祉に関する相談の意向

問 24 あなたは今後、福祉に関して次のような機関や支援者に相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

希望する相談先は、「市の窓口」が52.9%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」が31.8%、「権利擁護センターこだいら」が13.2%、「社会福祉協議会」が10.5%となっています。

福祉に関する相談の意向

総数=2,363 (複数回答)

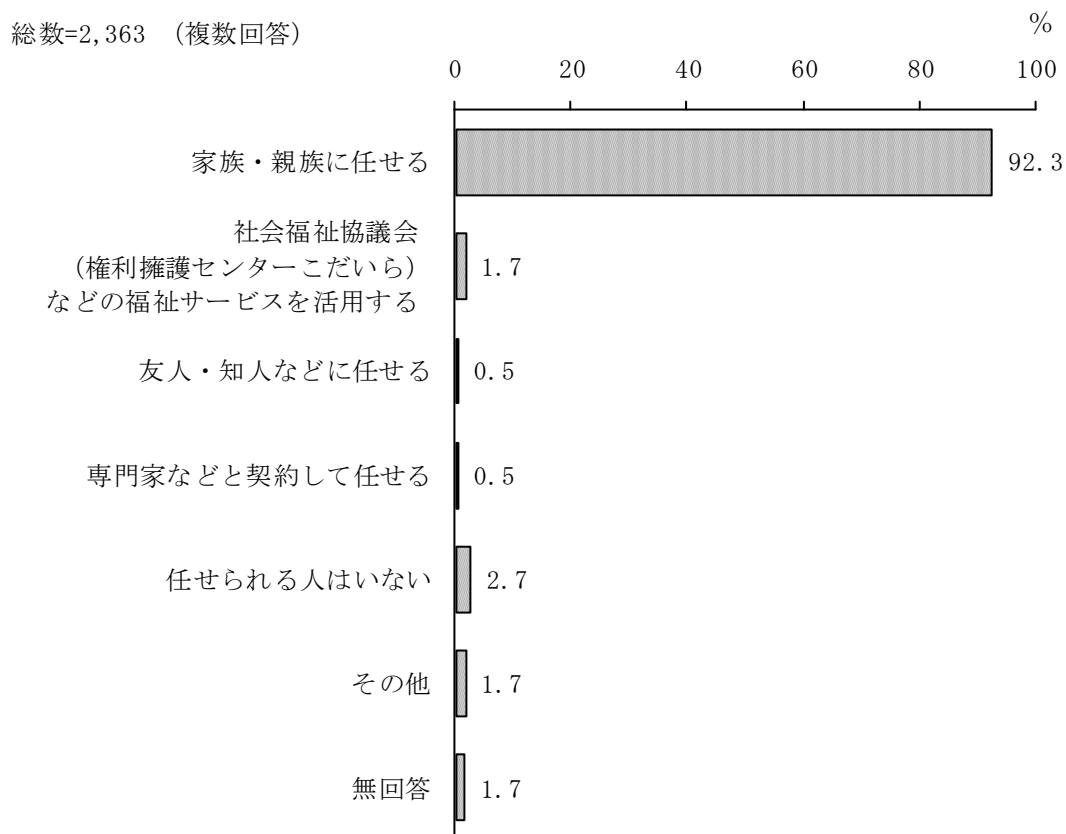


(5) 介護が必要になったときの金銭等の管理について

問 25 あなたには、介護が必要になった場合などに、お金の管理や通帳・重要書類の管理などを任せられる人がいますか。(一つに〇)

介護が必要になった場合に金銭等の管理を任せる相手は、「家族・親族に任せる」が 92.3%と特に多くなっています。次いで「社会福祉協議会（権利擁護センターこだいら）などの福祉サービスを活用する」が 1.7%となっています。「任せられる人はいない」は 2.7%でした。

介護が必要になったときの金銭等の管理について



権利擁護事業について

成年後見制度

高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人等が契約や手続きなどを代行したり、本人が誤って結んだ契約を取り消したりします。

地域福祉権利擁護事業

高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の福祉サービスの利用等を支援する制度です。利用契約を結び、支援計画に沿って支援を行います。

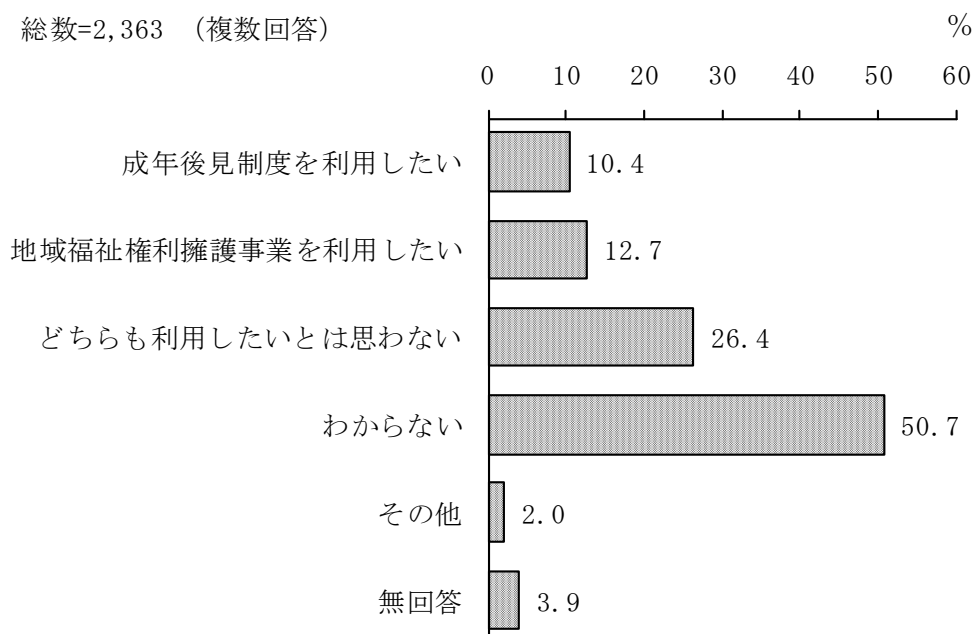
(6) 成年後見制度等の利用意向

問 26 あなたは、現在または将来、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業を利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「成年後見制度を利用したい」は 10.4%、「地域福祉権利擁護事業を利用したい」は 12.7%となっています。

成年後見制度等の利用意向

総数=2,363 (複数回答)



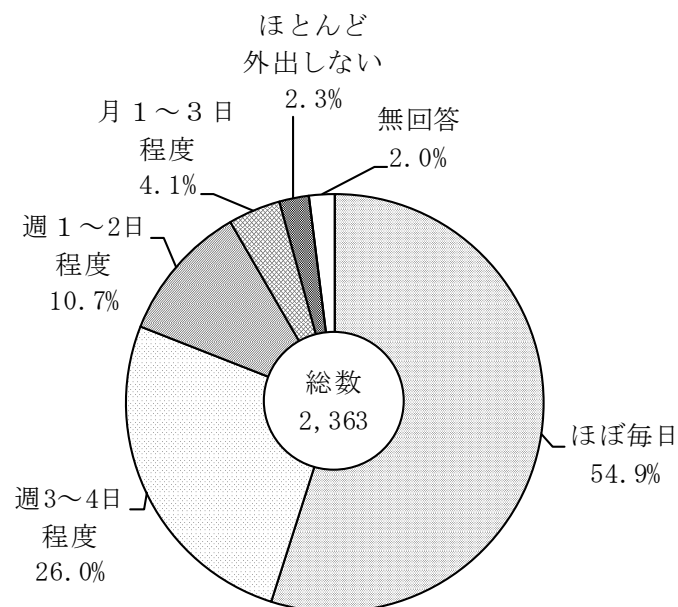
5 外出・社会参加について

(1) 外出の頻度

問 27 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(一つに○)

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が54.9%と最も多く、次いで「週3～4日程度」が26.0%、「週1～2日程度」が10.7%となっています。「ほとんど外出しない」は2.3%でした。

外出の頻度



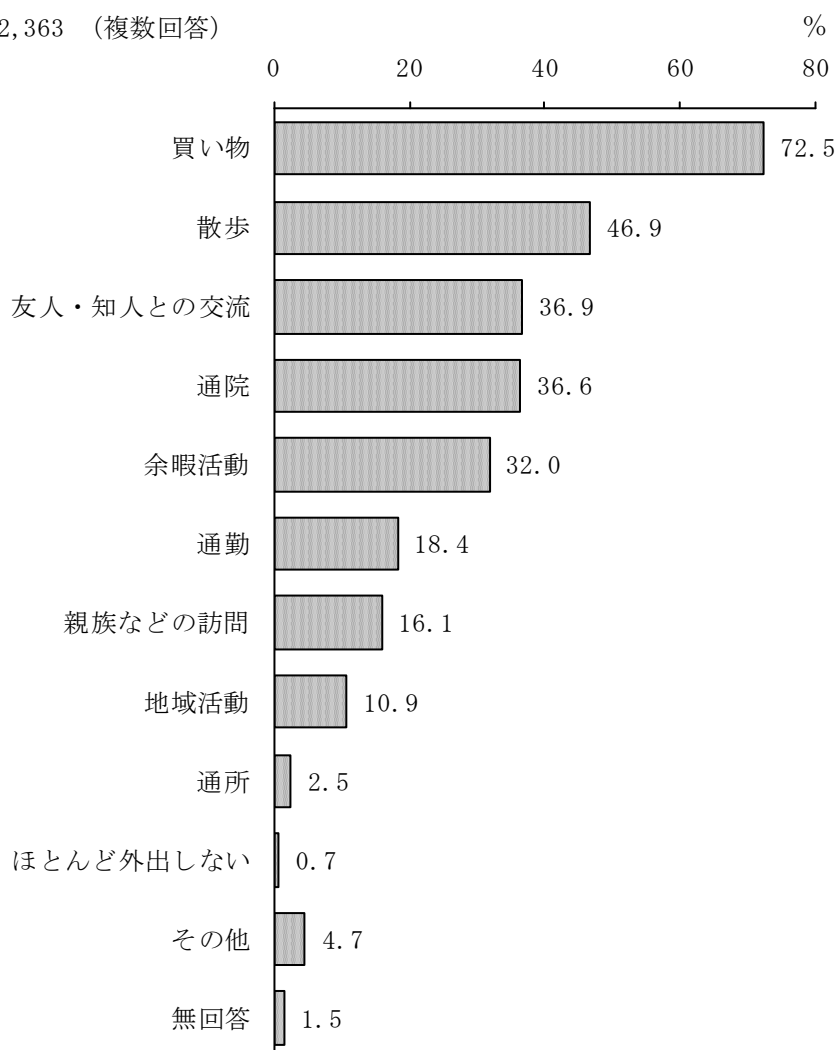
(2) 外出の目的

問 28 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(〇はいくつでも)

外出の目的は、「買い物」が 72.5%と最も多く、次いで「散歩」が 46.9%、「友人・知人との交流」が 36.9%、「通院」が 36.6%となっています。

外出の目的

総数=2,363 (複数回答)



【外出の目的と性別】

外出の目的を性別に見ると、女性では「買い物」、「友人・知人との交流」が男性より多くなっています。

外出の目的と性別

上段：人数 下段：構成比（%）		全体	通勤	通所	通院	買い物	散歩	余暇活動
		全体	2,363 100.0	435 18.4	60 2.5	865 36.6	1,714 72.5	1,108 46.9
性別	男性	1,059 100.0	277 26.2	23 2.2	346 32.7	628 59.3	553 52.2	337 31.8
	女性	1,291 100.0	157 12.2	37 2.9	513 39.7	1,082 83.8	548 42.4	417 32.3
	無回答	13 100.0	1 7.7	-	6 46.2	4 30.8	7 53.8	1 7.7

上段：人数 下段：構成比（%）		地域活動	親族などの訪問	友人・知人との交流	ほとんど外出しない	その他	無回答
		全体	258 10.9	380 16.1	872 36.9	17 0.7	110 4.7
性別	男性	112 10.6	131 12.4	305 28.8	7 0.7	60 5.7	24 2.3
	女性	146 11.3	249 19.3	565 43.8	9 0.7	50 3.9	12 0.9
	無回答	-	-	2 15.4	1 7.7	-	-

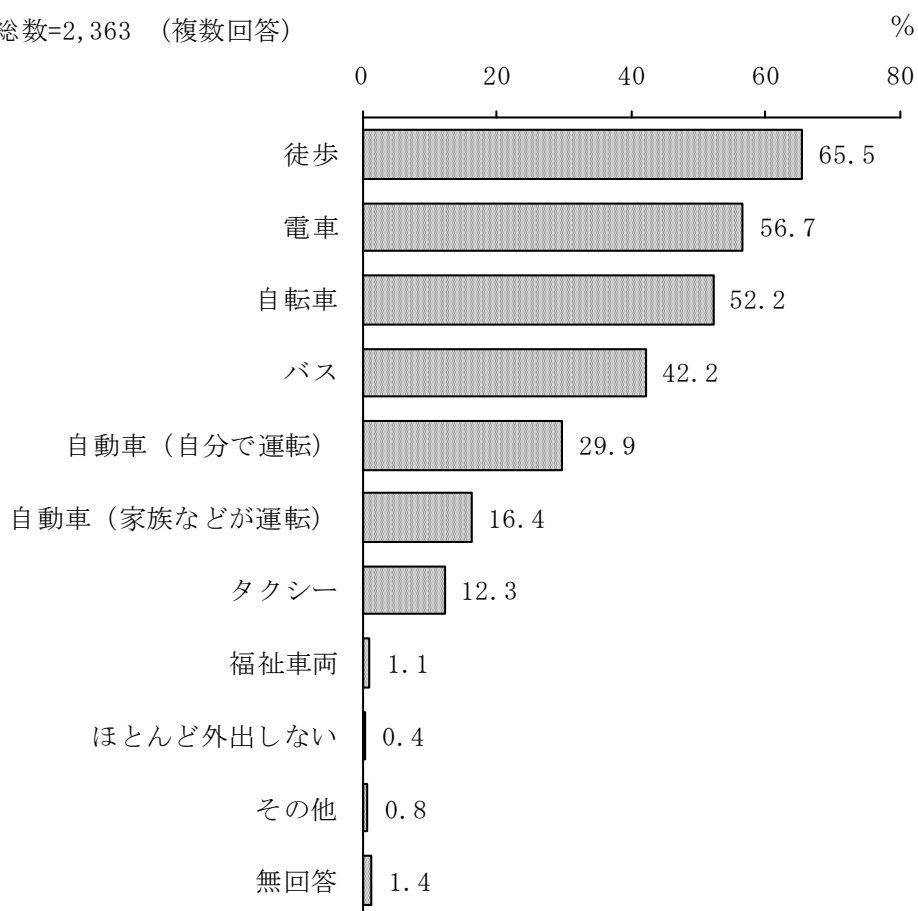
(3) 外出の際の主な交通手段

問 29 あなたは、外出する際に、どのような交通手段を利用することが多いですか。(〇はいくつでも)

外出する際の交通手段は、「徒歩」が 65.5%と最も多く、次いで「電車」が 56.7%、「自転車」が 52.2%、「バス」が 42.2%となっています。

外出の際の主な交通手段

総数=2,363 (複数回答)

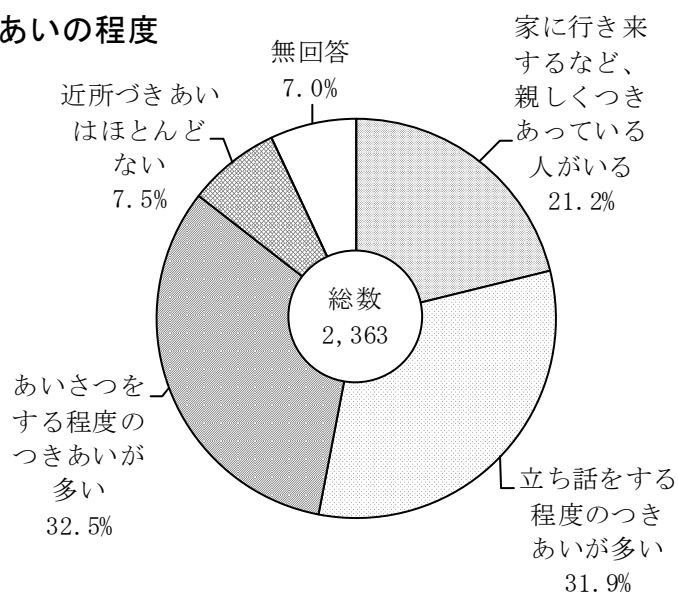


(4) 近所づきあいの程度

問 30 あなたは普段、どの程度の近所づきあいをしていますか。
(近いもの一つに○)

近所づきあいの程度は、「あいさつをする程度のつきあが多い」が32.5%と最も多く、次いで「立ち話をする程度のつきあが多い」が31.9%、「家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる」が21.2%となっています。「近所づきあいはほとんどない」は7.5%でした。

近所づきあいの程度



【近所づきあいの程度と性別】

近所づきあいの程度を性別に見ると、女性のほうが男性より近所づきあが多い傾向がみられます。

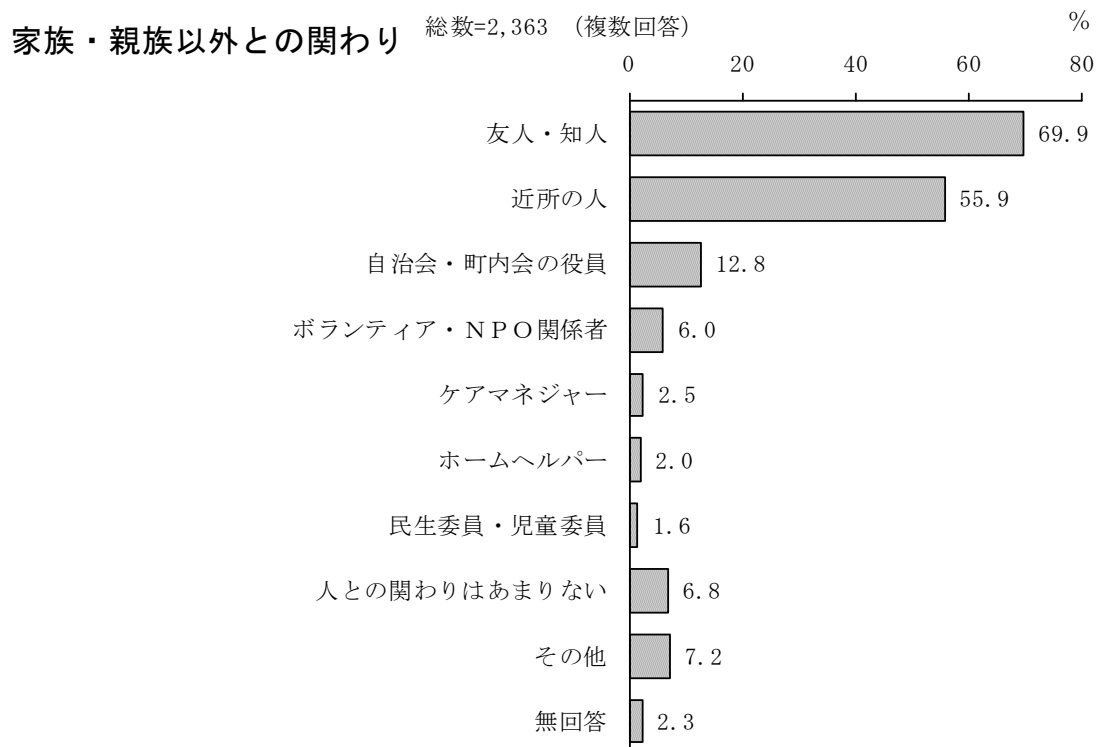
近所づきあいの程度と性別

		全体	家に行き来するなど、親しくつきあっている人がいる	立ち話をする程度のつきあが多い	あいさつをする程度のつきあが多い	近所づきあいはほとんどない	無回答
上段：人数 下段：構成比 (%)							
全体		2,363 100.0	500 21.2	753 31.9	768 32.5	177 7.5	165 7.0
性別	男性	1,059 100.0	158 14.9	280 26.4	458 43.2	108 10.2	55 5.2
	女性	1,291 100.0	341 26.4	470 36.4	303 23.5	69 5.3	108 8.4
	無回答	13 100.0	1 7.7	3 23.1	7 53.8	-	2 15.4

(5) 家族・親族以外との関わり

問31 あなたは普段、家族・親族以外にどのような人との関わりがありますか。(〇はいくつでも)

家族・親族以外との関わりについては、「友人・知人」が69.9%と最も多く、次いで「近所の人」が55.9%、「自治会・町内会の役員」が12.8%となっています。「人との関わりはあまりない」は6.8%でした。



【家族・親族以外との関わりと性別】

家族・親族以外との関わりを性別に見ると、女性では「友人・知人」、「近所の人」が男性より多くなっています。

家族・親族以外との関わりと性別

		全体	近所の人	友人・知人	ホームヘルパー	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	自治会・町内会の役員	ボランティア・NPO関係者	人との関わりはあまりない	その他	無回答
性別	全体	2,363	1,320	1,651	47	59	37	303	142	161	169	54
		100.0	55.9	69.9	2.0	2.5	1.6	12.8	6.0	6.8	7.2	2.3
	男性	1,059	506	675	15	22	15	162	60	103	101	35
		100.0	47.8	63.7	1.4	2.1	1.4	15.3	5.7	9.7	9.5	3.3
女性	1,291	805	972	31	36	22	138	82	58	68	16	
	100.0	62.4	75.3	2.4	2.8	1.7	10.7	6.4	4.5	5.3	1.2	
無回答	13	9	4	1	1	-	3	-	-	-	-	3
	100.0	69.2	30.8	7.7	7.7	-	23.1	-	-	-	-	23.1

(6) 就労の有無

問 32 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。仕事をしている方は、就労形態をお答えください。(一つに○)

就労形態は、「自営業・自由業」が11.1%と最も多く、次いで「アルバイト・パート」が7.2%、「社員・職員(常勤)」が3.9%、「社員・職員(非常勤)」が3.4%となっています。仕事をしている方は合わせて約3割でした。

就労の有無

		全体	自営業・自由業	社員・職員(常勤)	社員・職員(非常勤)	アルバイト・パート	シルバー人材センター 会員	内職	仕事はしていない	その他	無回答
上段：人数 下段：構成比(%)											
全体		2,363 100.0	263 11.1	92 3.9	81 3.4	170 7.2	55 2.3	8 0.3	1377 58.3	51 2.2	266 11.3
年齢	65～69歳	1096 100.0	130 11.9	69 6.3	60 5.5	122 11.1	19 1.7	1 0.1	580 52.9	24 2.2	91 8.3
	70～74歳	746 100.0	93 12.5	19 2.5	19 2.5	43 5.8	27 3.6	5 0.7	442 59.2	16 2.1	82 11.0
	75～79歳	270 100.0	25 9.3	2 0.7	1 0.4	4 1.5	8 3.0	1 0.4	180 66.7	4 1.5	45 16.7
	80～84歳	133 100.0	7 5.3	1 0.8	-	-	1 0.8	-	98 73.7	5 3.8	21 15.8
	85歳以上	100 100.0	6 6.0	-	-	-	-	1 1.0	69 69.0	2 2.0	22 22.0
	無回答	18 100.0	2 11.1	1 5.6	1 5.6	1 5.6	-	-	8 44.4	-	5 27.8

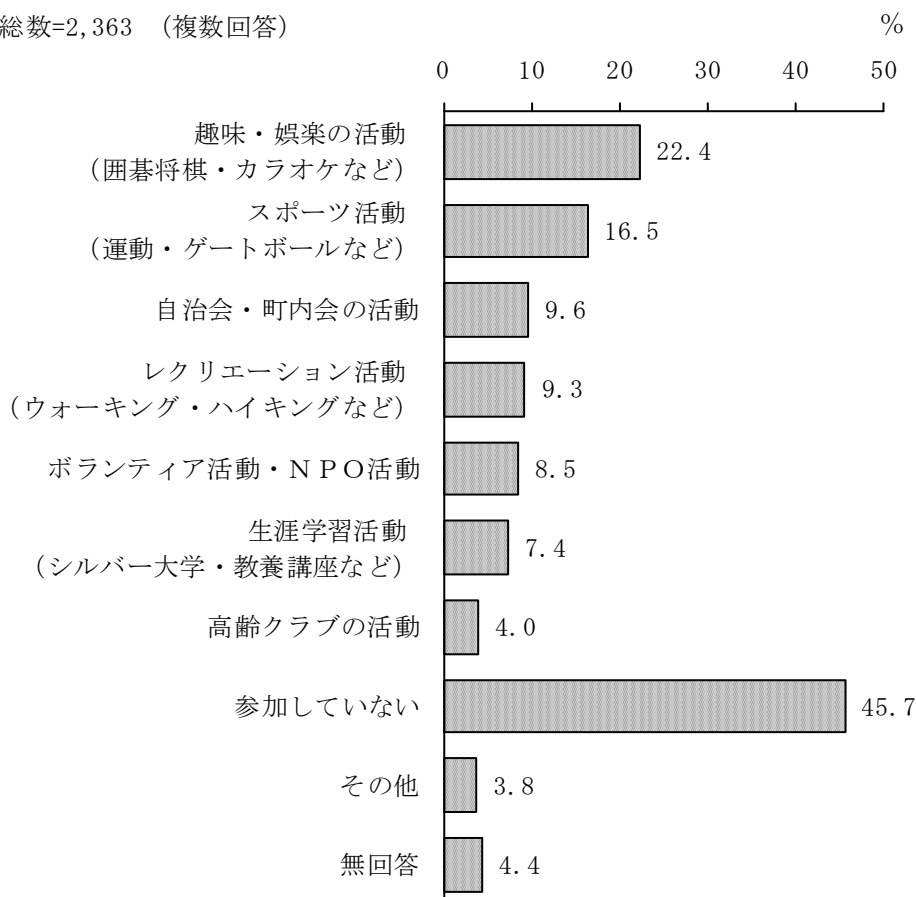
(7) 社会活動への参加状況

問 33 あなたは現在、次のような社会活動に参加していますか。
(〇はいくつでも)

社会活動への参加状況は、「趣味・娯楽の活動（囲碁将棋・カラオケなど）」が22.4%と最も多く、次いで「スポーツ活動（運動・ゲートボールなど）」が16.5%、「自治会・町内会の活動」が9.6%、「レクリエーション活動（ウォーキング・ハイキングなど）」が9.3%となっています。参加している方は合わせて約半数でした。

社会活動への参加状況

総数=2,363（複数回答）



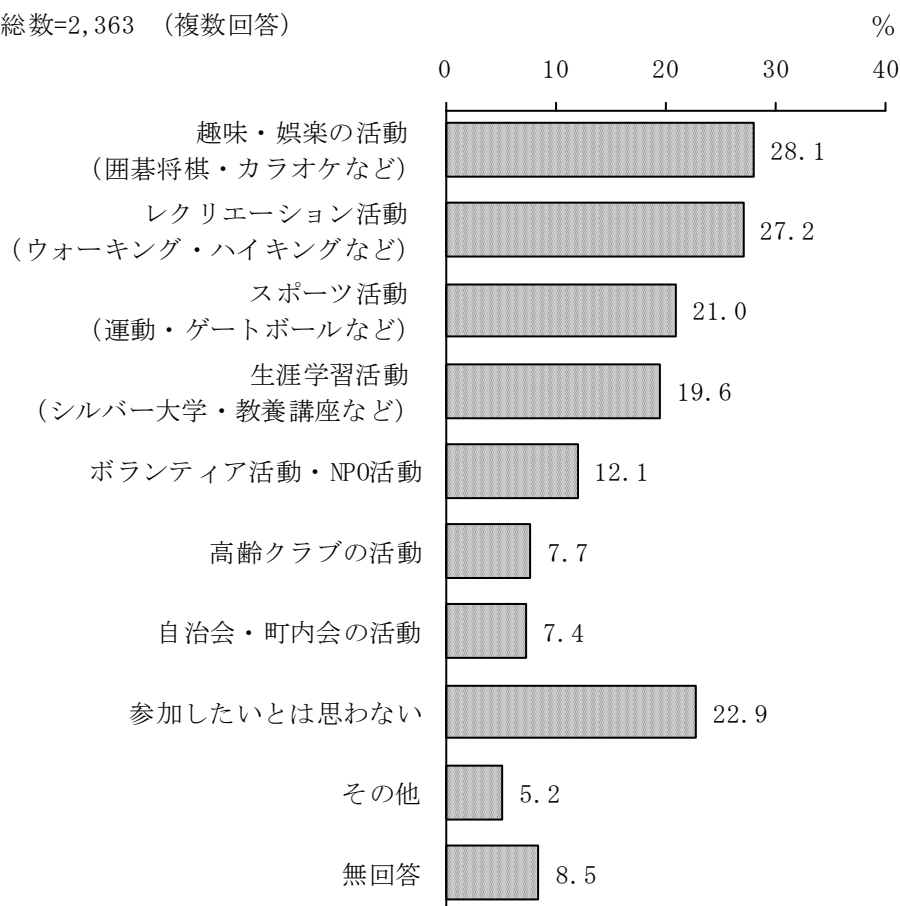
(8) 社会活動への参加意向

問 34 あなたは今後、次のような社会活動に参加したいと思いますか。
(〇はいくつでも)

今後の社会活動への参加意向は、「趣味・娯楽の活動(囲碁将棋・カラオケなど)」が 28.1%と最も多く、次いで「レクリエーション活動(ウォーキング・ハイキングなど)」が 27.2%、「スポーツ活動(運動・ゲートボールなど)」が 21.0%、「生涯学習活動(シルバー大学・教養講座など)」が 19.6%となっています。参加したい方は合わせて約7割でした。

社会活動への参加意向

総数=2,363 (複数回答)



ボランティアセンターについて

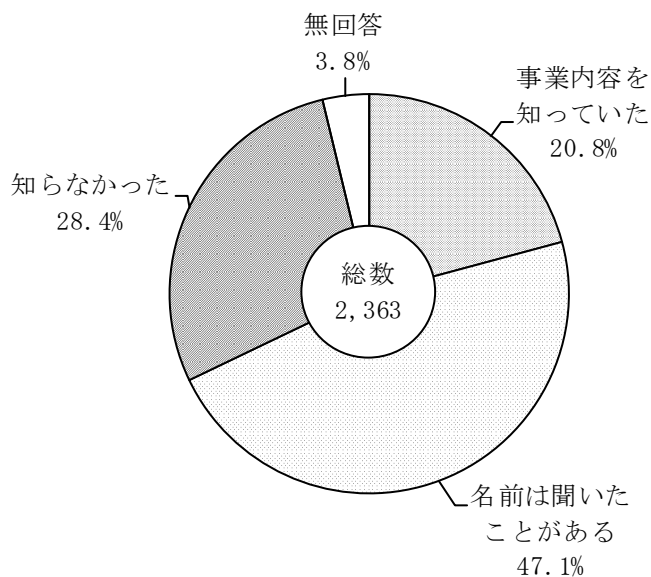
小平市社会福祉協議会ボランティアセンターは、ボランティア活動・市民活動を推進・支援するための施設です。ボランティアをしたい人と、してほしい人をつないだり、ボランティアに関する相談、情報提供、広報活動、講座・研修などを行っています。

(9) ボランティアセンターの認知度

問 35 あなたはこれまで、ボランティアセンターのことを知っていましたか。
(一つに〇)

ボランティアセンターについて、「事業内容を知っていた」が 20.8%、「名前は聞いたことがある」が 47.1%、「知らなかった」が 28.4%となっています。

ボランティアセンターの認知度



6 介護保険制度について

介護保険制度について

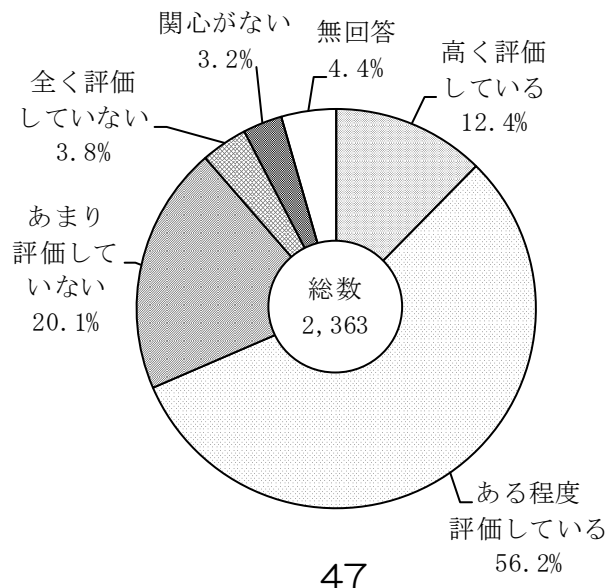
- 介護保険制度は、介護が必要になっても安心して暮らせるように、高齢者の介護を国民みんなで支える仕組みです。
- 介護や支援が必要になった方は、ホームヘルプやデイサービスなどの介護サービスを、要支援、要介護度に応じた限度額まで、1割の負担で利用することができます。
- 介護保険制度は、40歳以上の全ての方が支払う介護保険料と、国や自治体の公費負担によって支えられています。
- 65歳以上の方の介護保険料は、保険者である市町村ごとに条例で定められ、3年度を1期とする事業運営期間において介護や予防に要する費用を算定し、各被保険者の所得に応じて保険料を決定しています。

(1) 介護保険制度への評価

問36 あなたは、介護保険制度をどのように評価していますか。(一つに〇)

介護保険制度への評価としては、「ある程度評価している」が56.2%と最も多く、次いで「あまり評価していない」が20.1%、「高く評価している」が12.4%、「全く評価していない」が3.8%となっています。評価しているという回答が約7割でした。

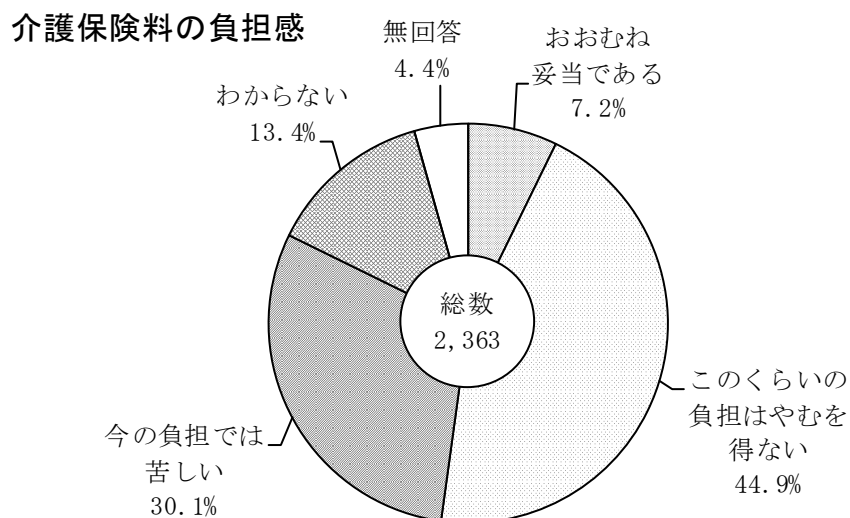
介護保険制度への評価



(2) 介護保険料の負担感

問37 現在、所得段階に応じて介護保険料を納めていただいておりますが、あなたの保険料の金額について、どのように感じていますか。(一つに〇)

介護保険料の負担感については、「このくらいの負担はやむを得ない」が44.9%と最も多く、次いで「今の負担では苦しい」が30.1%、「おおむね妥当である」が7.2%となっています。



【収入別の介護保険料の負担感】

介護保険料の負担感を収入別に見ると、5万円未満では「今の負担では苦しい」と感じる割合が高くなっています。

収入別の介護保険料の負担感

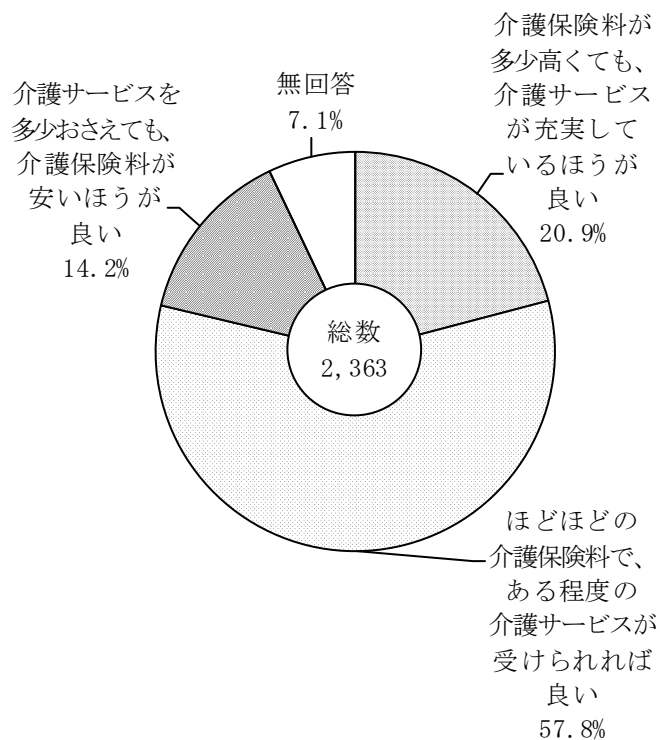
1か月の収入	上段：人数 下段：構成比 (%)	全体	おおむね妥当である	このくらいの負担はやむを得ない	今の負担では苦しい	わからない	無回答						
								人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
全体	2,363	100.0	171	7.2	1,062	44.9	711	30.1	316	13.4	103	4.4	
5万円未満	324	100.0	9	2.8	113	34.9	141	43.5	41	12.7	20	6.2	
	5万円以上10万円未満	516	100.0	33	6.4	218	42.2	165	32.0	77	14.9	23	4.5
	10万円以上15万円未満	287	100.0	22	7.7	111	38.7	106	36.9	39	13.6	9	3.1
	15万円以上20万円未満	368	100.0	26	7.1	170	46.2	114	31.0	40	10.9	18	4.9
	20万円以上30万円未満	450	100.0	40	8.9	244	54.2	110	24.4	42	9.3	14	3.1
	30万円以上	327	100.0	31	9.5	181	55.4	48	14.7	59	18.0	8	2.4
	無回答	91	100.0	10	11.0	25	27.5	27	29.7	18	19.8	11	12.1

(3) 介護保険料とサービス水準の関係

問 38 介護保険料の金額は、介護保険サービスの整備が進むに伴って高くなる関係にあります。あなたは、保険料の金額と介護保険サービスの水準の関係について、どのように考えますか。(一つに〇)

介護保険料とサービス水準の関係については、「ほどほどの介護保険料で、ある程度の介護サービスが受けられれば良い」が 57.8%と最も多く、次いで「介護保険料が多少高くても、介護サービスが充実しているほうが良い」が 20.9%、「介護サービスを多少おさえても、介護保険料が安いほうが良い」が 14.2%となっています。

介護保険料とサービス水準の関係



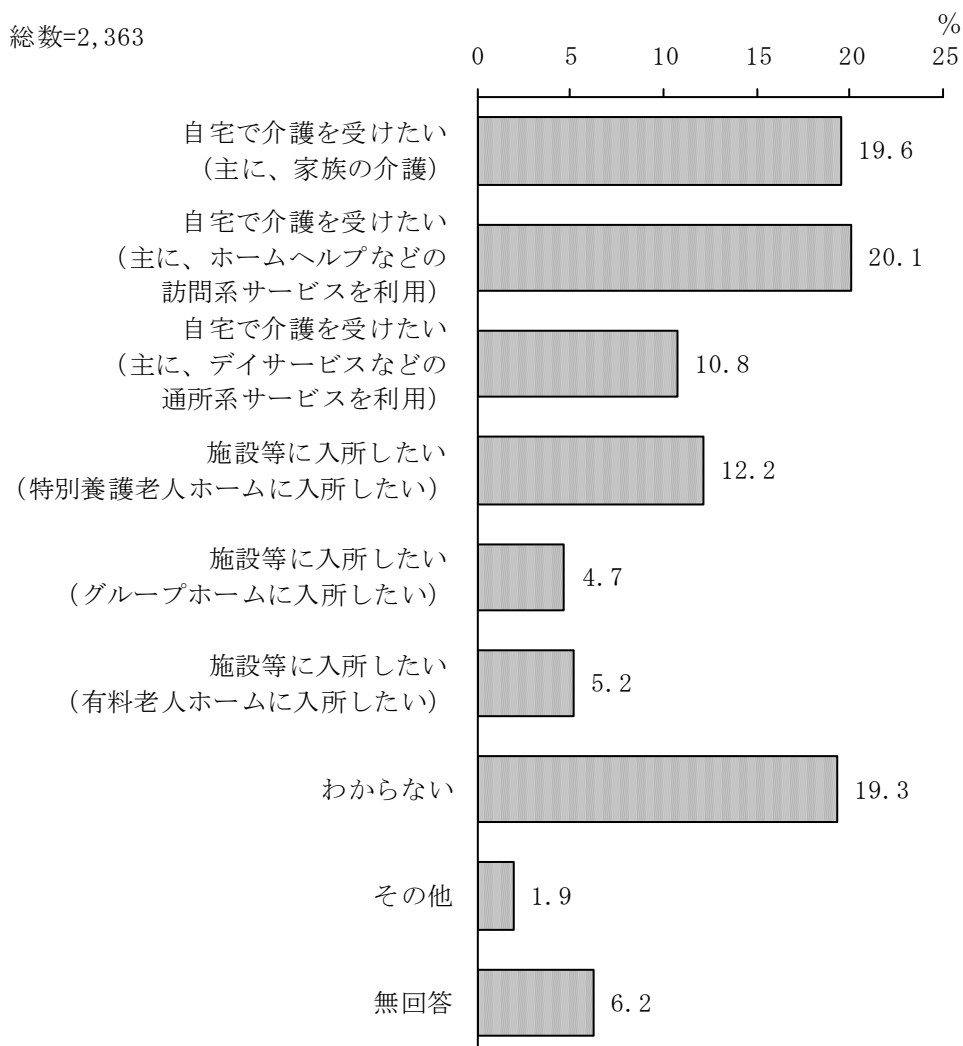
7 今後の生活について

(1) 介護が必要になったときの希望

問 39 あなたは、介護が必要になった場合、どのような介護のあり方を希望しますか。(一つに〇)

介護が必要になった場合に、「自宅で介護を受けたい(主に、ホームヘルプなどの訪問系サービスを利用)」が20.1%と最も多く、次いで「自宅で介護を受けたい(主に、家族の介護)」が19.6%、「施設等に入所したい(特別養護老人ホームに入所したい)」が12.2%、「自宅で介護を受けたい(主に、デイサービスなどの通所系サービスを利用)」が10.8%となっています。自宅で介護を受けたいという回答は合わせて約半数、施設等に入所したいという回答は合わせて2割あまりでした。

介護が必要になったときの希望



【介護が必要になったときの希望と性別】

介護が必要になったときの希望を性別に見ると、男性では「自宅で介護を受けたい（主に、家族の介護）」が女性より多くなっています。

介護が必要になったときの希望と性別

		全体	自宅で介護を受けたい (主に、家族の介護)	自宅で介護を受けたい (主に、ホームヘルプなどの 訪問系サービスを利用)	自宅で介護を受けたい (主に、デイサービスなどの 通所系サービスを利用)	施設等に入所したい (特別養護老人ホームに 入所したい)	施設等に入所したい (グループホームに 入所したい)	施設等に入所したい (有料老人ホームに 入所したい)	わからない	その他	無回答
上段：人数 下段：構成比 (%)											
全体		2,363 100.0	462 19.6	475 20.1	255 10.8	288 12.2	111 4.7	122 5.2	457 19.3	46 1.9	147 6.2
性別	男性	1,059 100.0	282 26.6	199 18.8	98 9.3	125 11.8	40 3.8	48 4.5	201 19.0	14 1.3	52 4.9
	女性	1,291 100.0	176 13.6	276 21.4	155 12.0	162 12.5	71 5.5	73 5.7	256 19.8	32 2.5	90 7.0
	無回答	13 100.0	4 30.8	-	2 15.4	1 7.7	-	1 7.7	-	-	5 38.5

在宅の介護保険サービス

訪問系サービス

ヘルパーなどが自宅を訪問して、介護などを行うサービスです。
(ホームヘルプなど)

通所系サービス

通所施設に通って、日常生活上の支援や生活機能訓練などを受けるサービスです。(デイサービスなど)

短期入所(ショートステイ)

福祉施設等に短期間入所して、身体介護や機能訓練などを受けるサービスです。

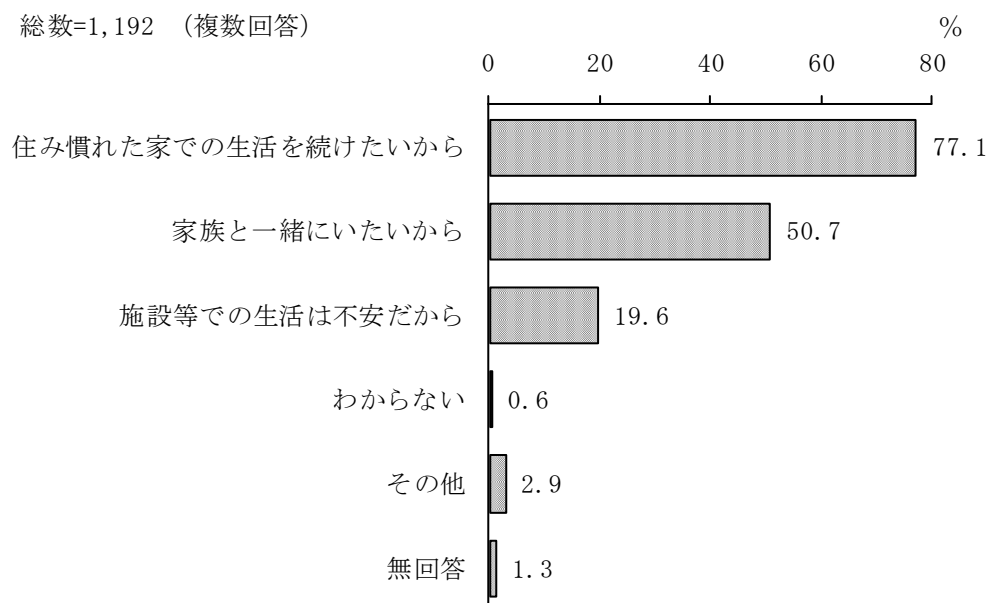
(2) 自宅で生活したい理由

問 40 問 39で「自宅で介護を受けたい(1・2・3)」と回答した方にお聞きします。自宅で生活したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

自宅で介護を受けたい理由については、「住み慣れた家での生活を続けたいから」が77.1%と最も多く、次いで「家族と一緒にいたいから」が50.7%、「施設等での生活は不安だから」が19.6%となっています。

自宅で生活したい理由

総数=1,192 (複数回答)



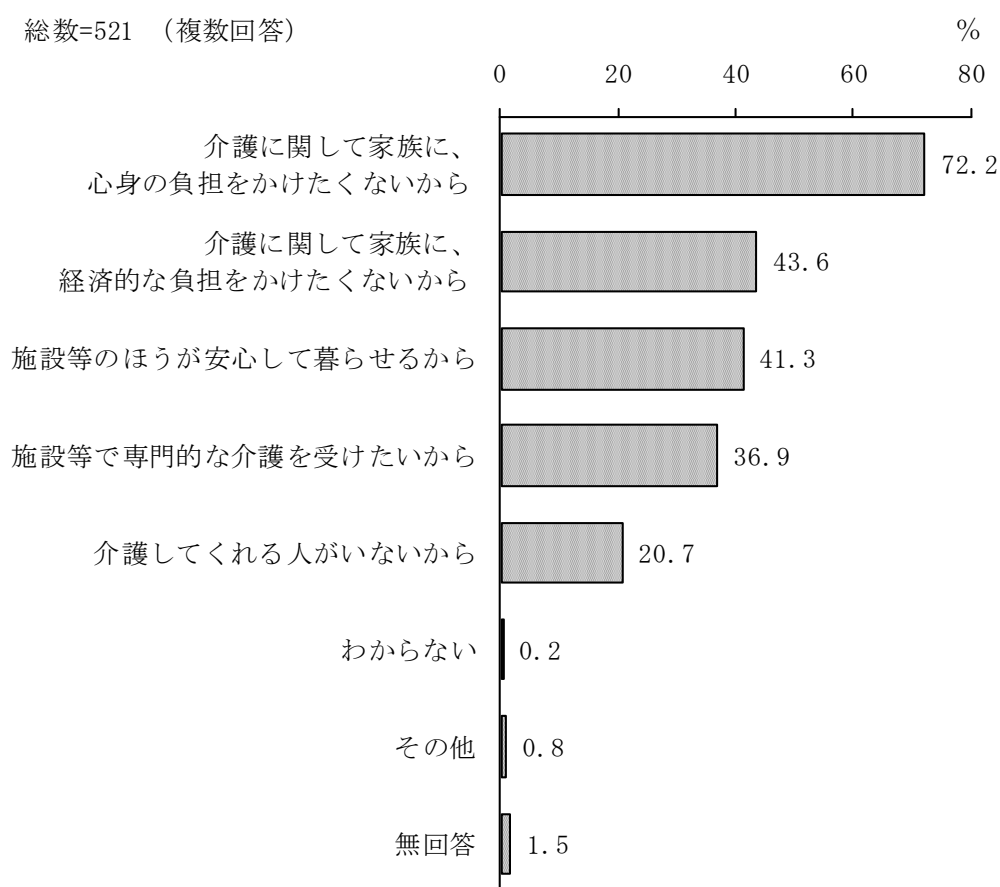
(3) 施設などに入りたい理由

問 41 問 39 で「施設等に入所したい(4・5・6)」と回答した方にお聞きします。施設に入りたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

施設などに入りたい理由としては、「介護に関して家族に、心身の負担をかけたくないから」が 72.2%と最も多く、次いで「介護に関して家族に、経済的な負担をかけたくないから」が 43.6%、「施設等のほうが安心して暮らせるから」が 41.3%、「施設等で専門的な介護を受けたいから」が 36.9%となっています。

施設などに入りたい理由

総数=521 (複数回答)



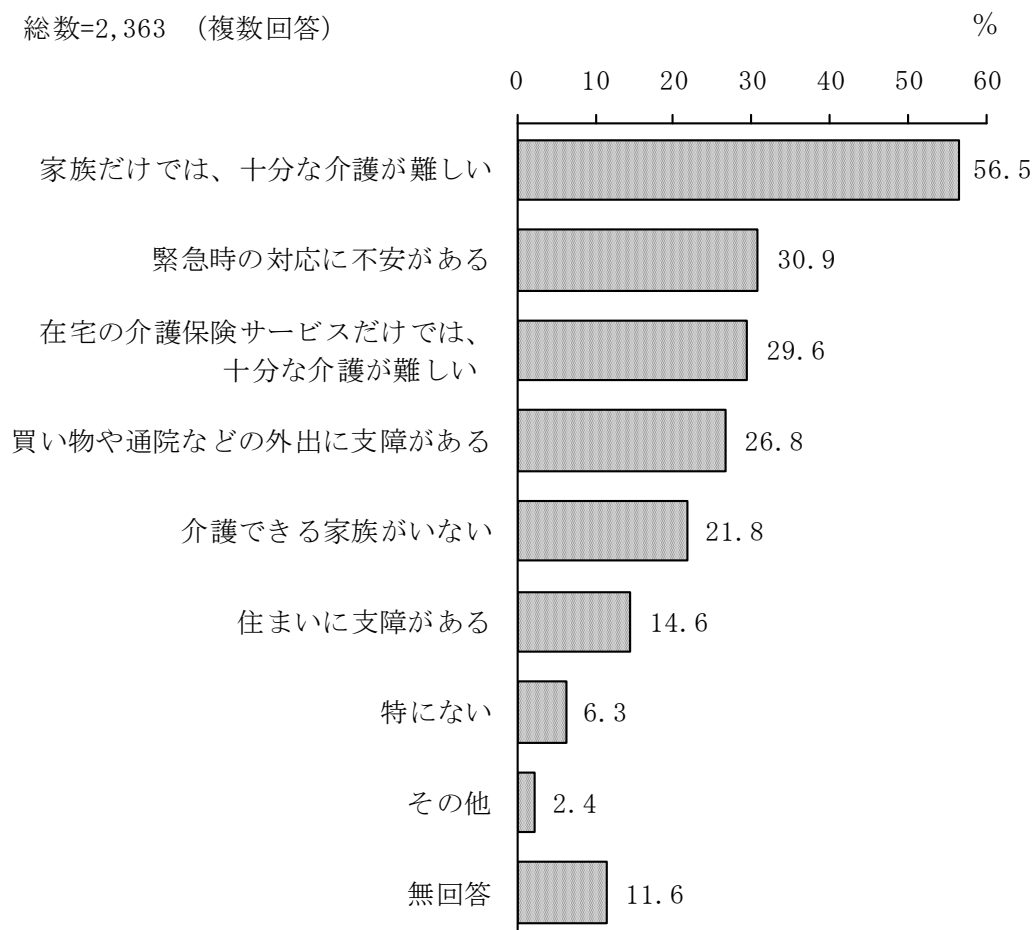
(4) 自宅で暮らし続けるための課題

問 42 介護が必要になっても、あなたが自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが課題になると思いますか。(〇はいくつでも)

自宅で暮らし続けるための課題は、「家族だけでは、十分な介護が難しい」が56.5%と最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が30.9%、「在宅の介護保険サービスだけでは、十分な介護が難しい」が29.6%、「買い物や通院などの外出に支障がある」が26.8%となっています。

自宅で暮らし続けるための課題

総数=2,363 (複数回答)



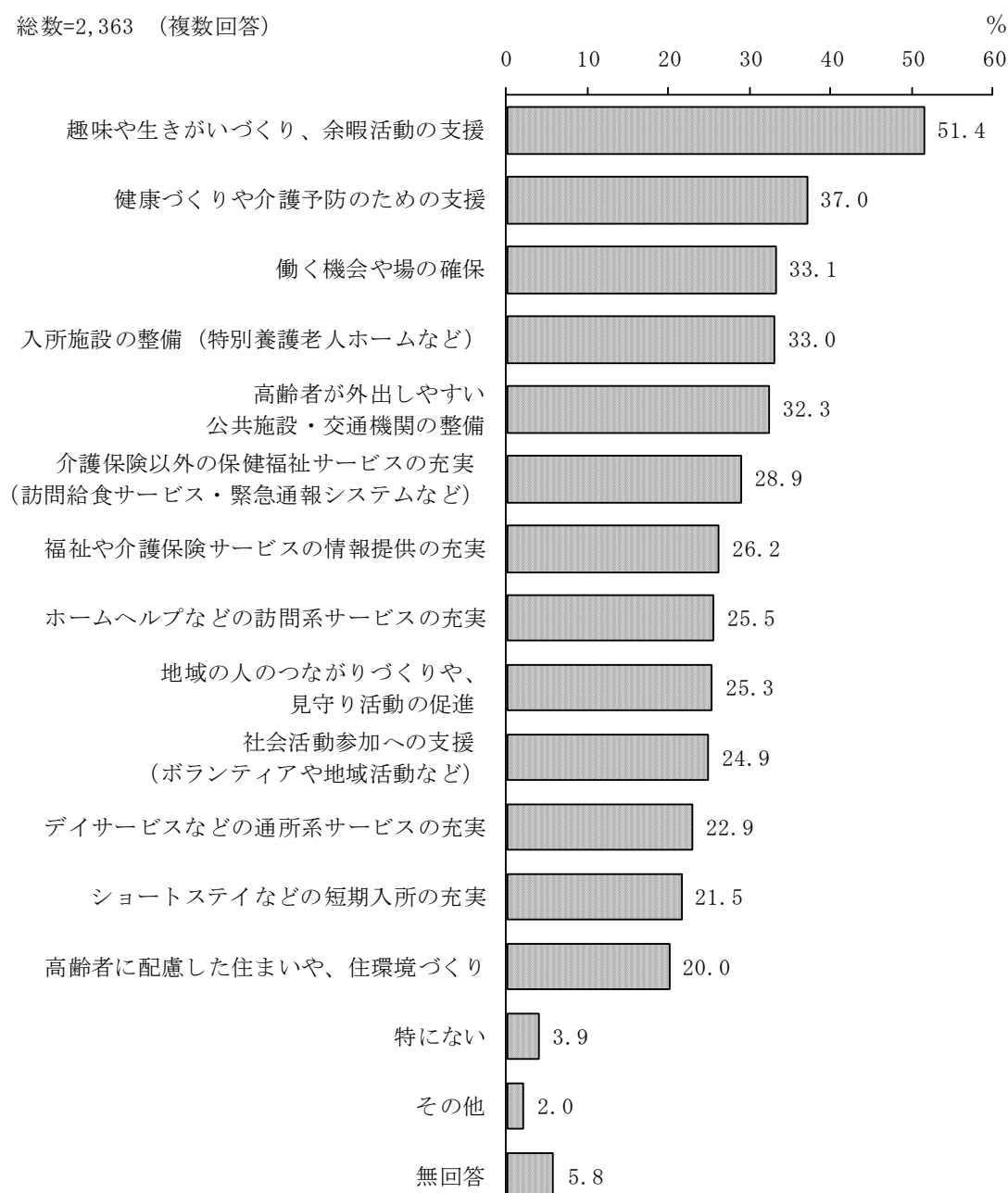
(5) 重要と思う高齢者福祉の取り組み

問 43 あなたは、高齢者の方がいきいきと豊かに暮らすためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

重要と思う高齢者福祉の取り組みは、「趣味や生きがいつくり、余暇活動の支援」が51.4%と最も多く、次いで「健康づくりや介護予防のための支援」が37.0%、「働く機会や場の確保」が33.1%、「入所施設の整備(特別養護老人ホームなど)」が33.0%となっています。

重要と思う高齢者福祉の取り組み

総数=2,363 (複数回答)



8 自由意見

問 44 小平市の高齢者施策について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見の総数は 608 件でした。分野別に見ると、「行政」についての意見が 162 件、「生きがい・社会参加」が 96 件、「施設サービス」、「介護保険制度」がそれぞれ 72 件となっています。

問 44 自由意見

	分 野	件
1	行政	162
2	生きがい・社会参加	96
3	施設サービス	72
	介護保険制度	72
5	居宅サービス	49
6	医療・健康	46
—	その他	181
総計		608

※ 複数の分野にまたがる意見もあるため、分野ごとの件数の合計は総数より多くなります。

◆ 主な回答の概要(内容は抜粋・要約してあります)

①行政(162件)

回 答 の 概 要	年 齢 ・ 性 別 回 答 者
行政サービスとしては、小平市はかなりの水準にあると思います。今後ともその姿勢を貫いてください。	73 歳・男性 ご本人
「小平の福祉にはかなわない」といわれるような、素晴らしい福祉実行に着手してもらいたい。	67 歳・男性 ご本人
この地区は町内会もありませんので、情報がありません。特に市からの訪問を願います。	75 歳・女性 ご本人
小平市内の高齢者の実態を常時把握する見守りシステムを充実する必要があります。	68 歳・男性 ご本人
介護される人と、介護者の人間関係の援助。する人とされる人との人間的交流の強化、普段の訓練が重要。	80 歳・男性 ご本人
デイサービスなど利用したいと思っても、どのように手続きしたらよいか、よく分からない。訪問して手続き等を教えていただきたいと思います。	89 歳・女性 ご家族

②生きがい・社会参加（96件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
60代の元気な高齢者は自立していきたいです。そういう雰囲気の小平市にしたいですね。「自立するシルバーパワー」を生かしてください。	66歳・女性 ご本人
70歳代でも仕事ができる環境づくり。身体を動かすことで、元気でいられるのでは。	68歳・女性 ご本人
老人でもできるボランティア活動をし、社会に貢献していくことも、元気の条件になるのではないのでしょうか。	77歳・女性 ご本人
生きがいは、自分が誰かのために役立っているという実感から生まれると思います。	65歳・女性 ご本人
元気な高齢者でもいつでも顔を出して、お茶を飲みながら話ができるような場所があれば、いつまでも元気で生活できると思います。	68歳・女性 ご本人
近所に声をかけてくれる人がいれば、高齢クラブにも行きやすいと思います。	72歳・女性 ご本人
介護予防教室の参加人数が少ない。継続性があって誰でも気軽に参加できる体制が、これからは必要だと思います。	66歳・女性 ご本人
介護予防などというくくりが嫌い。高齢者が楽しめること、結果的に予防につながるようなアイデアがほしい。	67歳・女性 ご本人

③施設サービス（72件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
特別養護老人ホームの整備が望ましい。待機者が多く、入所が困難と聞いている。	67歳・男性 ご本人
どちらかが倒れたりしたときは、共倒れになってしまうような気がするので、気楽に入れるような老人ホームがあれば、ありがたく思います。	77歳・男性 ご家族
家庭では介護しきれないと考えています。どこかに入所するには、高額なお金が必要で、その点が心配です。	72歳・女性 ご家族
主人が特別養護老人ホームに入所していましたが、人手が足りなくて目が行き届いていませんでした。増員をお願いしたいと思います。	80歳・女性 ご本人

④介護保険制度（72件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
要介護になったあと、どうしたらよいのか。どんなケアマネさんがいるのか全くわからず、今もわからないまま、何となく続いています。	67歳・女性 ご家族
介護保険制度に疑問を持っている。保険料を支払うのみで、実際に利用したいときに果たして思うように利用できるのかどうか。	66歳・女性 ご本人
介護保険サービスの利用を全く必要としない健康な高齢者に対し、顕彰制度でもあったら健康維持への励みになるのではないのでしょうか。	67歳・女性 ご本人
万一、要介護の判定を受けるようになった場合、当人の立場に立って温かい認定をお願いします。	72歳・男性 ご本人
介護が必要になったときなど、実際に介護を受けるまでの手続きなどが面倒、かつ時間がかかりすぎているなどと聞いています。	75歳・女性 ご本人
低所得者にとって、介護保険料を払い続けていくという現実は大変大きく、これでやっていけるのかと心配です。	65歳・女性 ご本人

⑤居宅サービス（49件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
昨年末より、高齢の夫が介護保険サービスのお世話になっております。何の知識もない私どもでしたが、色々な人のお世話になっております。	78歳・女性 ご本人
ホームヘルプを受けている方と親しくしておりますが、あまりにも固定化されて融通が利きません。	67歳・女性 ご本人
家族とはいつまでも良い関係でいたいので、通所施設、ショートステイの充実と訪問サービスの内容充実（時間を含めて）を希望します。	67歳・女性 ご本人
緊急通報システムによる、見守りがあることを知りました。体調の悪いときなどボタンを押すと連絡できるということがあればと思います。	84歳・女性 ご本人

⑥医療・健康（46件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
「かかりつけ医」を持つように言われているが、なかなか決められません。市内にも「クリニック街」があると大変助かると思うのですが。	73歳・女性 ご本人
動けなくなったとき自宅での訪問医、看護の連携があり、できるだけ自宅で過ごせることができれば良いと思います。	73歳・女性 ご本人
できるだけ長く自立の状態で生きたい。そのためには体が動くこと、認知症にならないことが大切だと思います。	69歳・女性 ご本人

⑦その他（181件）

回答の概要	年齢・性別 回答者
町内・自治会での見守りはとても大事なことだと思います。出しゃばらず見守ること、人間相手ですから人それぞれの対応の仕方があります。	72歳・女性 ご本人
町内会がないのが不安です。町内会を開催するインセンティブを考えてほしいと思います。	68歳・男性 ご本人
一人暮らし高齢者、高齢者世帯に対しての、緊急時の対処の方策について、小平市ならではのネットワークの構築を切に希望します。	76歳・女性 ご本人
コミュニティバスを充実させる。路線を拡げ一人で好きなところに行けるようにする。道路の整備、段差をなくす。	71歳・男性 ご本人
シルバーピアに入居したい。何回申し込んでも駄目で困っている。1日も早く入居ができるように願っています。	67歳・女性 ご本人